

哲学I				【単位数		2単位	
授業コード	12015	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	鈴木 亮三						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）	哲学						
本授業の概要							
本講義は、哲学にとっての「個」あるいは「私」を軸に、哲学とその他の学問との関係の理解からはじめ、古代ギリシア哲学、中世哲学、近世哲学、近代日本哲学についての一連の流れの習熟を目指します。といっても、専門的な知識は必要はありません。これまでみなさんが学んできたさまざまな知識について、あらためて捉え直す機会になればと思います。							
アクティブラーニングの実施内容							
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）			
1	近世哲学まででのヨーロッパ哲学と、近代日本哲学について、有機的な知識を習得する。			知識・技能			
2	自分のこれまで習得してきた知識を再編することができる。			思考・判断・表現力			
3	今後、何をどのように学ぶべきかについて、自分で考えることが出来る。			主体性			
4							
5							
成績評価の基準				対応する到達目標の番号			
1	授業への取り組み度（リアクションペーパー等） 30%			1			
2	期末レポート 70%			1/2			
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間			
1 イントロダクション：哲学とその他の学問の関係について							
事前学修	シラバスをよく読み、講義全体の流れを把握しておく。					2時間	
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。					2時間	
2 古代ギリシアとユダヤ・キリスト教の人間観							
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。					2時間	
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。					2時間	
3 古代ギリシアの世界観 その1 神話から科学へ							
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。					2時間	
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。					2時間	
4 古代ギリシアの世界観 その2 世界の原理「アルケー」について							
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。					2時間	
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。					2時間	
5 中世哲学の世界観：アウグスティヌスのと個の問題							
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。					2時間	
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。					2時間	

6 近世哲学 その1 デカルトの「私」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
7 近世哲学 その2 カントの「私」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
8 近世哲学 その3 フィヒテの自我		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
9 近世哲学 その4 シェリングの自我		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
10 近世哲学 その5 ヘーゲルの自己意識		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
11 近代日本哲学 その1 西田幾多郎の「純粹経験」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
12 近代日本哲学 その2 西田幾多郎の「私と汝」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間

13 近代日本哲学 その3 田辺元と和辻哲郎の「私と汝」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
14 近代日本哲学 その4 九鬼周造の「私と汝」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
15 まとめ 絵画の遠近法と自我の変遷		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
試験等		
期末レポート		
試験のフィードバックの方法		
模範解答の提示等。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
無し		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<必携書> 毎回の講義で資料を配布します		
<参考書> 講義で紹介します。		
オフィスアワー		
講義終了後に教室で質問を受け付けます。		
連絡先		
pb.jc9wd5@s.okayama-u.ac.jp		
留意事項		
講義内容の順番や内容については、学習進度に応じて変更することがあります。		

哲学II				【単位数		2単位			
授業コード		12020	科目ナンバリング		110Z0-1234-o2	開講年度学期		2025年度第1期	
担当者氏名		崎川 修							
時間割備考									
授業形態（主）		1 講義							
授業形態（副）									
担当形態		単独							
研究分野（大学院）									
本授業の概要									
現代を生きる私たち人間にとって、哲学はどのような意味と役割を持ちうるのだろうか。本講義では「哲学」という思考のスタイルの特徴と、その方法を学びながら、ウィットゲンシュタインを中心とする19～20世紀の哲学者たちの向き合った「世界」「自己」「他者」「欲望」「身体」「言葉」といった問題について考察する。たんに哲学的な知識の集積に終わらない、現実と対話する真の哲学的思考の確立を目指したい。									
アクティブラーニングの実施内容									
到達目標						対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）			
1	哲学的な思考のスタイルや哲学者の見解を理解し、諸科学との違いを踏まえ、その概念を説明できる。					知識・技能／思考・判断・表現力			
2	日常の生活の中に哲学的な問題を発見し、その問いを明確に表現し、思考を通じた言語的応答を実践することができる。					思考・判断・表現力／主体性			
3									
4									
5									
成績評価の基準						対応する到達目標の番号			
1	授業態度、リアクションペーパー：40%					1／2			
2	期末レポート：60%					2			
3									
4									
5									
実務経験のある教員による授業科目									
実務経験の授業への活用方法									
日本語以外の言語による授業									
授業予定一覧					事前・事後学修内容と時間				
1. 導入：対話としての哲学									
事前学修	シラバスから講義の概要や目的を把握し、取り扱われる内容について予備知識を整理しておく。							2時間	
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。							2時間	
2. 世界を知る ① 存在に触れる									
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。							2時間	
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。							2時間	
3. 世界を知る ② 現実と虚構									
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。							2時間	
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。							2時間	
4. 自己への問い ① デカルトと「考える私」									
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。							2時間	
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。							2時間	
5. 自己への問い ② ウィットゲンシュタインと独我論									
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。							2時間	
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。							2時間	

6. 自己への問い ③ 自己否定と沈黙の論理		
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。	2時間
7. 言葉を生きる ① 論理と他者		
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。	2時間
8. 言葉を生きる ② 言語ゲームと意味		
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。	2時間
9. 言葉を生きる ③ 生活形式と表現		
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。	2時間
10. 他者に出会う ① 規則のパラドックス		
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。	2時間
11. 他者に出会う ② 「心」の文法		
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。	2時間
12. 身体への着地 ① 「確実性」への問い		
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。	2時間

13. 身体への着地 ②「すがた」の倫理		
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。	2時間
14. 身体への着地 ③「物語」と表現の地平		
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深める。	2時間
15. まとめ；対話のゆくえ		
事前学修	教科書や配布資料の該当箇所を読んで問題を整理し、わからない部分や疑問点について調べておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションを作成する。また講義内容に関連する資料等を収集し、内容の理解を深め、期末レポートの作成をすすめる。	2時間
試験等		
期末レポートを提出してもらう。課題は授業内で指示する。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
『他者と沈黙 ウィトゲンシュタインからケアの哲学へ』 崎川 修, 晃洋書房、2020年 ISBN9784771033054		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<参考書等> 参考書は講義内で紹介する。 随時プリントを配布する。		
オフィスアワー		
授業内で指示する。質問や相談は随時メールで受け付ける。		
連絡先		
sakikawa@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
・受講者には毎回manabaのレポートフォームから、リアクションの提出が課される。リアクションの未提出が5回を超える場合には、「不可」となる場合がある。 ・レポートにおいてネットや文献からの無断流用が認められた場合は、「不可」となるので注意すること。		

倫理学Ⅰ				単位数	2単位
授業コード	12070	科目ナンバリング	110Z0-2340-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	崎川 修				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	1 講義				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
私たち人間は互いの人格を認め合い、また自己の人格を引き受けて生きる存在である。しかし「一人格である」ということは、つねにそれぞれの人生に与えられた「課題」であって、それは交わりの中で形成され、成熟していくものだといえる。本講義では「人格論」の視点から倫理学の根本にある「生き方」の問題を、実存哲学的な視点から考察する。また、本学の歴史と人格教育の伝統についても触れながら、かけがえのない自己の人格性の形成に意義について探求する。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	人格の概念とその形成プロセスについての基本的知識を的確に説明することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力
2	本学の伝統や過去の思想家の思想についての知識を的確に説明することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力
3	自己の人格において与えられている課題に答えていく「生き方」についての意見を述べるができる。				思考・判断・表現力／主体性
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	受講態度・リアクションペーパー：50%				1／2／3
2	期末レポート：50%				1／2／3
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧					
事前・事後学修内容と時間					
1. 導入：人格論としての倫理学					
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。				2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。				2時間
2. 本学の伝統における人格教育					
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。				2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。				2時間
3. 人格とは何か					
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。				2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。				2時間
4. 交わりと人格形成					
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。				2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。				2時間
5. 実存と人生へのまなざし					
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。				2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。				2時間

6. キルケゴールに学ぶ ①美と倫理		
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。	2時間
7. キルケゴールに学ぶ ②絶望と信仰		
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。	2時間
8. ニーチェに学ぶ ①道徳とルサンチマン		
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。	2時間
9. ニーチェに学ぶ ②ニヒリズムの問題		
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。	2時間
10. ドストエフスキーに学ぶ①罪と罰		
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。	2時間
11. ドストエフスキーに学ぶ②愛と再生		
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。	2時間
12. フランクフルに学ぶ①『夜と霧』のメッセージ		
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。	2時間

13. フランクルに学ぶ② 人生から問われるもの		
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。	2時間
14. ハン・ガンの作品世界に学ぶ～回復する人間		
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。	2時間
15. まとめ：希望としての人格		
事前学修	シラバスに示されたテーマについて調べ、基本的な概念の意味や人物の思想背景などを確認しておく。	2時間
事後学修	ノートを整理してリアクションペーパーに自分の考えをまとめ、また資料等と照らして確認し考察を深める。	2時間
試験等		
期末レポートを提出してもらう。内容については授業内で指示する。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
〈必携書〉 『新・私たちの人間論』 ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所編, 大学教育出版, 2022年 〈参考書〉 『夜と霧 [新版] 』 V. フランクル/池田香代子訳, みすず書房, 2002年 『人として大切なこと』 渡辺和子, PHP文庫, 2005年 『他者と沈黙~ワイトゲンシュタインからケアの哲学へ』 崎川 修, 晃洋書房, 2020年 『すべての、白いものたち』 ハン・ガン/斎藤真理子訳, 河出文庫, 2023年 ほか授業内で随時紹介する。 必要な資料は適宜プリントを配布する。		
オフィスアワー		
授業内にて指示する。質問・相談は随時メールで受け付ける。		
連絡先		
sakikawa@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
・受講者には毎回授業内で、もしくはmanabaのレポートフォームから、リアクションの提出が課される。リアクションの未提出が5回を超える場合には、「不可」となる場合がある。 ・レポートにおいてネットや文献からの無断流用が認められた場合は、「不可」となるので注意すること。 ・本講義は2年次生以上を履修対象とする。		

倫理学II				単位数	2単位
授業コード	12085	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	鈴木 亮三				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）	倫理学				
本授業の概要					
本講義は、禁欲主義道徳の起源とその展開に焦点を当てて、倫理学とその他の学問との関係の理解からはじめ、ヨーロッパの主な二つの伝統（古代ギリシア、ユダヤ・キリスト教）の特色、古代ギリシア哲学、中世哲学、近世哲学、近代日本哲学における倫理学的思考についての一連の流れの習熟を目指します。といっても、専門的な知識は必要はありません。これまでみなさんが学んできたさまざまな知識について、あらためて捉え直す機会になればと思います。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	近現代哲学までのヨーロッパの倫理思想について、有機的な知識を習得する。				知識・技能
2	自分のこれまで習得してきた知識を再編することができる。				思考・判断・表現力
3	今後、何をどのように学ぶべきかについて、自分で考えることが出来る。				主体性
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業への取り組み度（リアクションペーパー等） 30%				1
2	期末レポート 70%				1/2
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間	
1 イントロダクション：倫理学とその他の学問の関係について					
事前学修	シラバスをよく読み、講義全体の流れを把握しておく。				2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。				2時間
2 古代ギリシアとユダヤ・キリスト教の人間観					
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。				2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。				2時間
3 古代ギリシアの倫理思想 プラトンからアリストテレスへ					
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。				2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。				2時間
4 中世の倫理思想 アウグスティヌス「何を何のために犠牲にすべきか」					
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。				2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。				2時間
5 近代哲学の倫理思想 その1 カント「欲望を犠牲にして道徳法則に接近せよ」					
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。				2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。				2時間

6 近代哲学の倫理思想 その2 シェリング「道德行為そ自体が徳である」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
7 近代哲学の倫理思想 その3 ヘーゲル「私のものは私のもののままでよいか」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
8 現代哲学の倫理思想 その1 ニーチェ「欲してよいのは”無”しかないのか？」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
9 現代哲学の倫理思想 その2 フロイト「禁欲が文化を形成する」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
10 現代哲学の倫理思想 その3 ジェイムズ「生活での禁欲は宗教の代替物である」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
11 現代哲学の倫理思想 その4 カッシーラー「人間は欲望の実現を遅らせる生物である」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
12 現代哲学の倫理思想 その5 ベルクソン「神があるから礼拝するのか、礼拝するから神があるのか」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間

13 現代哲学の倫理思想 その6 ウィニコット「ひとを癒やすのは無定形と無目的か」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
14 現代哲学の倫理思想 その7 J. ハーマン「回復のきっかけは気取らない寛大さに触れることである」		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
15 まとめ		
事前学修	前回の講義の要点についての再確認を行う。	2時間
事後学修	講義の要点をまとめ、配付資料をもとに理解を深める。	2時間
試験等		
期末レポート		
試験のフィードバックの方法		
模範解答の提示等。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
無し		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<必携書> 毎回の講義で資料を配布します		
<参考書> 講義で紹介します。		
オフィスアワー		
講義終了後に教室で質問を受け付けます。		
連絡先		
pb.jc9wd5@s.okayama-u.ac.jp		
留意事項		

文学Ⅰ					単位数	2単位
授業コード	12110	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期	
担当者氏名	中井 賢一					
時間割備考						
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）	2 演習					
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
源氏物語宇治十帖の物語世界について、各巻の特徴と人物像との検証から概括的に理解する。正編との密接な関わりや宇治世界ならではの思想について明らかにしたい。なお、適宜、作品解釈等について分担し、調査・発表を行うものとする。						

6 総角巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
7 早蕨巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
8 宿木巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
9 中間まとめ		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
10 東屋巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
11 浮舟巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
12 蜻蛉巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分

1 3 手習巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
1 4 夢浮橋巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
1 5 まとめ		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
試験等		
学期末レポートを課す。		
試験のフィードバックの方法		
レポートの総括コメントを公表予定。		
必携書 (教科書販売)		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
・『源氏物語宇治十帖抄』松尾聡ら 笠間書院9784305000628 ・『古典文学研究の視角』大学教育出版9784866923505		
必携書・参考書 (教科書販売以外)		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
授業中に指示する。		
オフィスアワー		
金曜日3時限		
連絡先		
k_nakai@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		

文学A				単位数		2単位	
授業コード	12115	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	中井 賢一						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）	2 演習						
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
源氏物語宇治十帖の物語世界について、各巻の特徴と人物像との検証から概括的に理解する。正編との密接な関わりや宇治世界ならではの思想について明らかにしたい。なお、適宜、作品解釈等について分担し、調査・発表を行うものとする。							
アクティブラーニングの実施内容							
調査学習							
到達目標						対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	源氏物語宇治十帖に関する基礎的内容について理解することができる。					知識・技能／主体性	
2	宇治十帖の人物、及び、宇治十帖と正編との関わりについて理解することができる。					知識・技能／思考・判断・表現力	
3	到達目標1・2について、それらに対する自らの見解を適切に表現できる。					知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4							
5							
成績評価の基準						対応する到達目標の番号	
1	復習シート10%					1／2	
2	調査・発表20%					2／3	
3	学期末レポート60%					1／2／3	
4	口頭試問10%					1／2／3	
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧							
事前・事後学修内容と時間							
1 講義概要の説明-源氏物語宇治十帖について-							
事前学修	（予習）授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。					120分	
事後学修	（復習）復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。					120分	
2 正編世界と続編世界①							
事前学修	（予習）授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。					120分	
事後学修	（復習）復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。					120分	
3 正編世界と続編世界②							
事前学修	（予習）授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。					120分	
事後学修	（復習）復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。					120分	
4 橋姫巻と人物							
事前学修	（予習）授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。					120分	
事後学修	（復習）復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。					120分	
5 椎本巻と人物							
事前学修	（予習）授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。					120分	
事後学修	（復習）復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。					120分	

6 総角巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
7 早蕨巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
8 宿木巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
9 中間まとめ		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
10 東屋巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
11 浮舟巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
12 蜻蛉巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分

1 3 手習巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
1 4 夢浮橋巻と人物		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
1 5 まとめ		
事前学修	(予習) 授業で扱う巻について、あらすじを整理しておくこと。また、調査・発表担当者は、指示を遵守しつつ発表準備に当てること。	120分
事後学修	(復習) 復習シートに必要事項を記入の上、提出すること。	120分
試験等		
学期末レポートを課す。		
試験のフィードバックの方法		
レポートの総括コメントを公表予定。		
必携書 (教科書販売)		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
・『源氏物語宇治十帖抄』松尾聡ら 笠間書院9784305000628 ・『古典文学研究の視角』大学教育出版9784866923505		
必携書・参考書 (教科書販売以外)		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
授業中に指示する。		
オフィスアワー		
金曜日3時限		
連絡先		
k_nakai@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		

文学ⅠⅠ				単位数	2単位
授業コード	12120	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	遊佐 徹				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
中国文学における小説ジャンルについて、その成立過程と変遷、そして特徴を文体、主要モチーフ、近代化などに焦点を当てつつ通覧します。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	1 本来中国語である「小説」という言葉の原義を指摘できる。				知識・技能
2	2 中国の小説の成立と発展過程を指摘できる。				知識・技能
3	3 他言語文化圏の小説ジャンルとの共通点と相違点を把握し、文学における小説ジャンルの存在意義を指摘できる。				知識・技能
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	指名回答10%				1／2／3
2	授業中に課す小課題20%				1／2／3
3	期末テスト70%				1／2／3
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間	
1 ガイダンス					
事前学修	この授業では、できる限り中国の小説作品を原文と翻訳の形式で読みます。受講者の皆さんは、事前に配布する作品資料をよく読んで出席してください。また、随時様々な質問を投げ掛けますので的確に答えられるよう予習、復習に励んでください。				
事後学修	この授業では、できる限り中国の小説作品を原文と翻訳の形式で読みます。受講者の皆さんは、事前に配布する作品資料をよく読んで出席してください。また、随時様々な質問を投げ掛けますので的確に答えられるよう予習、復習に励んでください。				
2 魯迅からの旅 1、歴史的概観					
事前学修					
事後学修					
3 魯迅からの旅 2、小説の原義と近代「小説」					
事前学修					
事後学修					
4 文言と白話：中国文学における文学言語と小説					
事前学修					
事後学修					
5 神話と物語と小説					
事前学修					
事後学修					

6 事実か虚構か：六朝志怪小説、志人小説		
事前学修		
事後学修		
7 唐代伝奇小説の文学性		
事前学修		
事後学修		
8 庶民の物語の誕生：宋代に始まる変化		
事前学修		
事後学修		
9 『三国志演義』の成立：白話小説の時代へ		
事前学修		
事後学修		
10 四大奇書：明代傑作小説		
事前学修		
事後学修		
11 歴史小説としての白話小説		
事前学修		
事後学修		
12 移動する人々：白話小説のドラマの構造		
事前学修		
事後学修		

13 短編小説の盛行		
事前学修		
事後学修		
14 清代白話小説の特徴		
事前学修		
事後学修		
15 中国近代「小説」の誕生：再び魯迅へ		
事前学修		
事後学修		
試験等		
16 試験		
試験のフィードバックの方法		
要求に応じて模範解答を開示します。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
特にありません。		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<必携書> 漢和字典 <参考書等> 参考文献については授業中に紹介します。		
オフィスアワー		
担当教員は非常勤教員です。お問い合わせは以下のメールアドレスにお願いいたします。 yusa@cc.okayama-u.ac.jp		
連絡先		
yusa@cc.okayama-u.ac.jp		
留意事項		
欠席、遅刻、受講態度については厳しくチェックします。		

文学B				単位数		2単位	
授業コード	12125	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	遊佐 徹						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
中国文学における小説ジャンルについて、その成立過程と変遷、そして特徴を文体、主要モチーフ、近代化などに焦点を当てつつ通覧します。							
アクティブラーニングの実施内容							
到達目標						対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	1 本来中国語である「小説」という言葉の原義を指摘できる。					知識・技能	
2	2 中国の小説の成立と発展過程を指摘できる。					知識・技能	
3	3 他言語文化圏の小説ジャンルとの共通点と相違点を把握し、文学における小説ジャンルの存在意義を指摘できる。					知識・技能	
4							
5							
成績評価の基準						対応する到達目標の番号	
1	指名回答10%					1／2／3	
2	授業中に課す小課題20%					1／2／3	
3	期末テスト70%					1／2／3	
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間			
1 ガイダンス							
事前学修	この授業では、できる限り中国の小説作品を原文と翻訳の形式で読みます。受講者の皆さんは、事前に配布する作品資料をよく読んで出席してください。また、随時様々な質問を投げかけますので的確に答えられるよう予習、復習に励んでください。						
事後学修	この授業では、できる限り中国の小説作品を原文と翻訳の形式で読みます。受講者の皆さんは、事前に配布する作品資料をよく読んで出席してください。また、随時様々な質問を投げかけますので的確に答えられるよう予習、復習に励んでください。						
2 魯迅からの旅 1、歴史的概観							
事前学修							
事後学修							
3 魯迅からの旅 2、小説の原義と近代「小説」							
事前学修							
事後学修							
4 文言と白話：中国文学における文学言語と小説							
事前学修							
事後学修							
5 神話と物語と小説							
事前学修							
事後学修							

6 事実か虚構か：六朝志怪小説、志人小説		
事前学修		
事後学修		
7 唐代伝奇小説の文学性		
事前学修		
事後学修		
8 庶民の物語の誕生：宋代に始まる変化		
事前学修		
事後学修		
9 『三国志演義』の成立：白話小説の時代へ		
事前学修		
事後学修		
10 四大奇書：明代傑作小説		
事前学修		
事後学修		
11 歴史小説としての白話小説		
事前学修		
事後学修		
12 移動する人々：白話小説のドラマの構造		
事前学修		
事後学修		

13 短編小説の盛行		
事前学修		
事後学修		
14 清代白話小説の特徴		
事前学修		
事後学修		
15 中国近代「小説」の誕生：再び魯迅へ		
事前学修		
事後学修		
試験等		
16 試験		
試験のフィードバックの方法		
要求に応じて模範解答を開示します。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
特にありません。		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<必携書> 漢和字典 <参考書等> 参考文献については授業中に紹介します。		
オフィスアワー		
担当教員は非常勤教員です。お問い合わせは以下のメールアドレスにお願いいたします。 yusa@cc.okayama-u.ac.jp		
連絡先		
yusa@cc.okayama-u.ac.jp		
留意事項		
欠席、遅刻、受講態度については厳しくチェックします。		

文学ⅠⅤ				単位数		2単位		
授業コード		12135	科目ナンバリング		110Z0-1234-o2	開講年度学期		2025年度第1期
担当者氏名		村中 李衣						
時間割備考								
授業形態（主）		1 講義						
授業形態（副）								
担当形態		単独						
研究分野（大学院）								
本授業の概要								
国内外の児童文学作品及び絵本を鑑賞することを通して、「物語」のもつ力とそれを受容する読者の間に生じる読みのダイナミクスを学ぶ。 毎回、テキストを手掛かりに国内外の作品を読み解くためのグループディスカッションを行っていく。 また、創作のベースとなるメルヘンの構造についても、最初に学び、後の作品読解の手がかりになるようにする。								
アクティブラーニングの実施内容				グループ・ディスカッション				
到達目標							対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	1. 児童文学作品に関心を持ち、積極的に読書するとともに、それぞれの作品世界について自分なりの意見や世界観を持てるようになる。						主体性	
2	2. メルヘンの構造にも理解を深め、巷のメディアに翻弄されない児童文学作品の適切な選択ができるようになる。						思考・判断・表現力	
3	3. 読みあいの概要と方法を理解し、日常場面でコミュニケーションの一助とすることができる。						知識・技能	
4								
5								
成績評価の基準							対応する到達目標の番号	
1	授業中の討論への参加 20% （到達目標3）						1／2／3	
2	レポート 80%（到達目標1， 2）						1／2	
3								
4								
5								
実務経験のある教員による授業科目				実務あり				
実務経験の授業への活用方法								
現役の児童文学の実作者として、絵本や児童文学作品が創作過程において或いは編集過程においてどのような意図をもって創られていくのかを具体的に解き明かしながら、読者との接点について考えを広げていくことに役立てていく。								
日本語以外の言語による授業								
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間				
①児童文学とは								
事前学修	事前学習として、どんな心構えで臨めばいいのかテキスト全体に目を通しておく						2時間	
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する						2時間	
②メルヘンの系譜その1：しらゆきひめ								
事前学修	「しらゆきひめ」の話を自分で語れるようにしておく						2時間	
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する						2時間	
③メルヘンの系譜その2：あかずきん								
事前学修	「赤ずきん」の話を自分で語れるようにしておく						2時間	
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する						2時間	
④メルヘンの系譜その3：ももたろう								
事前学修	「ももゝたろう」の話を自分で語れるようにしておく						2時間	
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する						2時間	
⑤『ぼくはくまのままでいたかったのに』を中心に								
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく						2時間	
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する						2時間	

⑥『しろいうさぎとくろいうさぎ』を中心に		
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑦『はらぺこあおむし』を中心に		
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑧『100万回生きたねこ』を中心に		
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑨『じごくのそうべえ』を中心に		
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑩文学教材の問題を考える：レオ・レオニ作品について		
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑪翻訳児童文学の問題と可能性		
事前学修	自分の好きな翻訳児童文学の作品についてその魅力を整理しておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて翻訳児童日運学について自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑫文学と語り		
事前学修	11週目に指定した資料を読んで考えをまとめておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間

⑬読書療法から読みあいへ		
事前学修	12週目に指定した資料を読んで考えをまとめておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめマナバにて提出する	2時間
⑭読みあい体験		
事前学修	読み聞かせと読みあいの違いについて資料等で調べておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめマナバにて提出する	2時間
⑮まとめ		
事前学修	これまでの授業を振り返ってどんな学びの収穫があったのかを語れるようにしておく	2時間
事後学修	15回を顧みて自分の言葉で学びの成果をまとめ、マナバにて提出	2時間
試験等		
授業で学んだ作品を読み込む視点を生かして、自身で選んだ作品の分析と読みあい実践の振り返りをレポートにまとめ、14回目の講義終了時に提出する。		
試験のフィードバックの方法		
15週目の講義終了時に提出されたレポートの総括を記したペーパーを配布する		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜必携書＞		
子どもと絵本を読みあう，村中李衣，ぶどう社 978-4892401572		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし		
オフィスアワー		
授業終了後に教室で質問等を受け付ける		
連絡先		
muranaka@m.ndsu.ac.jp（村中）		
留意事項		
児童文学の世界を「子どもだけが関係あるんでしょ」と考えずに、広く世界を見渡す手立てとしてとらえられるよう、柔軟な心でいっしょに学びあいましょう。世界に繋がる扉を自分の力で押し開ける手助けができますように。		

文学C		単位数		2単位	
授業コード	12136	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	村中 李衣				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
国内外の児童文学作品及び絵本を鑑賞することを通して、「物語」のもつ力とそれを受容する読者の間に生じる読みのダイナミクスを学ぶ。 毎回、テキストを手掛かりに国内外の作品を読み解くためのグループディスカッションを行っていく。 また、創作のベースとなるメルヘンの構造についても、最初に学び、後の作品読解の手がかりになるようにする。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	1. 児童文学作品に関心を持ち、積極的に読書するとともに、それぞれの作品世界について自分なりの意見や世界観を持てるようになる。			主体性	
2	2. メルヘンの構造にも理解を深め、巷のメディアに翻弄されない児童文学作品の適切な選択ができるようになる。			思考・判断・表現力	
3	3. 読みあいの概要と方法を理解し、日常場面でコミュニケーションの一助とすることができる。			知識・技能	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業中の討論への参加 20% （到達目標3）			1／2／3	
2	レポート 80%（到達目標1， 2）			1／2	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
現役の児童文学の実作者として、絵本や児童文学作品が創作過程において或いは編集過程においてどのような意図をもって創られていくのかを具体的に解き明かしながら、読者との接点について考えを広げていくことに役立てていく。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
①児童文学とは					
事前学修	事前学習として、どんな心構えで臨めばいいのかテキスト全体に目を通しておく				2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する				2時間
②メルヘンの系譜その1：しらゆきひめ					
事前学修	「しらゆきひめ」の話を自分で語れるようにしておく				2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する				2時間
③メルヘンの系譜その2：あかずきん					
事前学修	「あかずきん」の話を自分で語れるようにしておく				2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する				1 時間
④メルヘンの系譜その3：ももたろう					
事前学修	「ももたろう」の話を自分で語れるようにしておく				2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する				2時間
⑤『ぼくはくまのままでいたかったのに』を中心に					
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく				2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する				2時間

⑥『しろいうさぎとくろいうさぎ』を中心に		
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑦『はらぺこあおむし』を中心に		
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑧『100万回生きたねこ』を中心に		
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑨『じごくのそうべえ』を中心に		
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑩文学教材の問題を考える：レオ・レオニ作品について		
事前学修	指定テキスト部分を読み自分の考えが言えるようにしておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑪翻訳児童文学の問題と可能性		
事前学修	自分の好きな翻訳児童文学の作品についてその魅力を整理しておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて翻訳児童日運学について自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間
⑫文学と語り		
事前学修	11週目に指定した資料を読んで考えをまとめておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめmanaバにて提出する	2時間

⑬読書療法から読みあいへ		
事前学修	12週目に指定した資料を読んで考えをまとめておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめマナバにて提出する	2時間
⑭読みあい体験		
事前学修	読み聞かせと読みあいの違いについて資料等で調べておく	2時間
事後学修	事後学習として、授業を終えて自分の考えがどう変わったかを事前学習で考えたことと絡め合わせながら文章にまとめマナバにて提出する	2時間
⑮まとめ		
事前学修	これまでの授業を振り返ってどんな学びの収穫があったのかを語れるようにしておく	2時間
事後学修	15回を顧みて自分の言葉で学びの成果をまとめ、マナバにて提出	2時間
試験等		
授業で学んだ作品を読み込む視点を生かして、自身で選んだ作品の分析と読みあい実践の振り返りをレポートにまとめ、14回目の講義終了時に提出する。		
試験のフィードバックの方法		
15週目の講義終了時に提出されたレポートの総括を記したペーパーを配布する		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜必携書＞ 子どもと絵本を読みあう，村中李衣，ぶどう社　978-4892401572		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし		
オフィスアワー		
授業終了後に教室で質問等を受け付ける		
連絡先		
muranaka@m.ndsu.ac.jp（村中）		
留意事項		
児童文学の世界を「子どもだけが関係あるんでしょ」と考えずに、広く世界を見渡す手立てとしてとらえられるよう、柔軟な心でいっしょに学びあいましょう。世界に繋がる扉を自分の力で押し開ける手助けができますように。		

文学ⅤⅠ					単位数	2単位
授業コード	12138	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第 1 期	
担当者氏名	山根 道公、高田 ひかり					
時間割備考	9/1～4					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	複数					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
世界で愛読され、映画化も話題になった、日本を代表するキリスト教作家遠藤周作（1923–1996）の『沈黙』と、イギリスの英文学者・キリスト教思想家のC. S. ルイス（Clive Staples Lewis, 1898–1963）の『ナルニア国物語』を取り上げる。キリスト教思想を根底にした日英の世界文学の名作を読解し、そのテーマを自分の問題意識とも結び付けて主体的に考える授業である。 本講義の前半では、英ガーディアン紙の「死ぬまでに読むべき必読小説」のリストにもあがる『沈黙』を取り上げ、その背後にある作者遠藤周作の挫折の人生と信仰体験を解説し、さらに日本キリシタン史や聖書の象徴等にも触れながら、主人公が挫折と屈辱の末に人間の苦しみの同伴者となるイエスと出会い、人生に何一つ無駄なものはないことに気づいてゆく魂のドラマを読み解く。 本講義の後半では、「ナルニア国物語」シリーズの第1作目『ライオンと魔女』（原題The Lion, the Witch and the Wardrobe）を主なテキストとして取り扱い、人間の原罪、倫理の重要性、この世に生きることに伴う苦しみや痛み の存在を認めつつも 、キリストに従って生きることの歎びと希望をルイスがいかに表現しているかを考える。さらに、ルイスは文学作品以外にも、神学思想を一般読者に読みやすい形で伝える思想的著作を数多く残しており、神との関わりのうちにある「歎び」（“joy”）を探究することに端を発したルイスの信仰と神学についても学ぶ。						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	授業で取り上げたキリスト教作家の作品について、その時代背景や作家の聖書理解・キリスト教思想等を説明することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力	
2	キリスト教文学作品を理解するために必要なキリスト教の基礎的な知識を説明できる。				知識・技能／思考・判断・表現力	
3	授業で取り上げた作品のテーマについて自分の問題意識とも結び付けて主体的に考え、自分の読解を論理的に表現することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	事前レポート・リアクションレポート 30%				3	
2	中間レポート 35%				1／2／3	
3	期末レポート 35%				1／2／3	
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間			
1．遠藤の生涯を信仰と文学を中心に概説（1～8 担当 山根道公）						
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1回分2時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。					2 時間
事後学修	復習としては、期末レポートの準備になるように毎回の授業での考察や気づき等をまとめる復習をしておくこと。					2 時間
2．『沈黙』「まえがき」「1章」-作品の歴史的背景・切支丹迫害概説・父性的イエス像						
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1回分2時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。					2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習					2 時間
3．『沈黙』「2 章」「3 章」-かくれ切支丹の信仰・雨の象徴表現・弱者と強者の信仰						
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1回分2時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。					2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習					2 時間

4. 『沈黙』 「4 章」-信徒の殉教と神の沈黙の問題・ユダの裏切りとイエスの愛の問題		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
5. 『沈黙』 「5 章」「6 章」-罪について・キチジローの信仰・愛（アガペー）について		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
6. 『沈黙』 「7 章」「8 章」-日本の精神風土とキリスト教の問題・母性的イエス像		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
7. 『沈黙』 「9 章」「切支丹屋敷役人日記」-新たな信仰共同体黙の声とその聖書的背景		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
8. 前半まとめ		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、授業に参加してください。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
9. .ルイスの生涯とその作品について概説、福音書について（9～16 担当 高田ひかり）		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
10.『ライオンと魔女』―罪のテーマに着目して		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2時間
11. 『ライオンと魔女』―受肉、死と復活に着目して		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間

12. 『ライオンと魔女』―色彩から読み解く		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1回分2時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前アクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2時間
13. 『ライオンと魔女』―遊び、笑いのイメージ		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1回分2時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前アクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2時間
14. ルイスの「飲む」の神学について		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1回分2時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前アクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2時間
15. 「飲む」の神学とルイスの文学理論		
16. 後半まとめ		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1回分2時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前アクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2時間
試験等		
中間レポート・期末レポート（課題の内容については授業中に説明する）		
試験のフィードバックの方法		
必要に応じてマナバで行う。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
ライオンと魔女／C. S. ルイス／岩波書店／1300／9784001163711／冊子版		
遠藤周作『沈黙』新潮社（新潮文庫）〔ISBN: 978-4101-123158〕		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書 『聖書』（必ず持参すること） 参考書 C. S. ルイス『栄光の重み』（C. S. ルイス宗教著作集8）、西村徹訳、新教出版社、2004年。 C. S. ルイス『喜びのおとずれ：C. S. ルイス自叙伝』（富山房百貨文庫7）、早乙女忠・中村邦生訳、富山房、1994年。 遠藤周作『切支丹の里』中公文庫 山根道公『遠藤周作 その人生と「沈黙」』日本キリスト教団出版局		
オフィスアワー		
集中講義のため、質問・相談等は、授業終了後の休み時間、昼休みに受け付ける。また、随時、電子メールで受け付ける。		
連絡先		
山根道公<yamane@m.ndsu.ac.jp> 高田ひかり <s8335@m.ndsu.ac.jp>		
留意事項		
授業が一方通行にならないようにアクションペーパーに感想・質問等を書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。		

文学D					単位数	2単位
授業コード	12140	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第 1 期	
担当者氏名	山根 道公、高田 ひかり					
時間割備考	9/1～4					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	複数					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
世界で愛読され、映画化も話題になった、日本を代表するキリスト教作家遠藤周作（1923-1996）の『沈黙』と、イギリスの英文学者・キリスト教思想家のC. S. ルイス（Clive Staples Lewis, 1898-1963）の『ナルニア国物語』を取り上げる。キリスト教思想を根底にした日英の世界文学の名作を読解し、そのテーマを自分の問題意識とも結び付けて主体的に考える授業である。 本講義の前半では、英ガーディアン紙の「死ぬまでに読むべき必読小説」のリストにもあがる『沈黙』を取り上げ、その背後にある作者遠藤周作の挫折の人生と信仰体験を解説し、さらに日本キリシタン史や聖書の象徴等にも触れながら、主人公が挫折と屈辱の末に人間の苦しみの同伴者となるイエスと出会い、人生に何一つ無駄なものはないことに気づいてゆく魂のドラマを読み解く。 本講義の後半では、「ナルニア国物語」シリーズの第1作目『ライオンと魔女』（原題The Lion, the Witch and the Wardrobe）を主なテキストとして取り扱い、人間の原罪、倫理の重要性、この世に生きることに伴う苦しみや痛み の存在を認めつつも、キリストに従って生きることの歎びと希望をルイスがいかに表現しているかを考える。さらに、ルイスは文学作品以外にも、神学思想を一般読者に読みやすい形で伝える思想的著作を数多く残しており、神との関わりの中にある「歎び」（“joy”）を探究することに端を発したルイスの信仰と神学についても学ぶ。						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	授業で取り上げたキリスト教作家の作品について、その時代背景や作家の聖書理解・キリスト教思想等を説明することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力	
2	キリスト教文学作品を理解するために必要なキリスト教の基礎的な知識を説明できる。				知識・技能／思考・判断・表現力	
3	授業で取り上げた作品のテーマについて自分の問題意識とも結び付けて主体的に考え、自分の読解を論理的に表現することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	事前レポート・リアクションレポート 30%				3	
2	中間レポート 35%				1／2／3	
3	期末レポート 35%				1／2／3	
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目						
実務経験の授業への活用方法						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間				
1． 遠藤の生涯を信仰と文学を中心に概説（1～8 担当 山根道公）						
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。					2 時間
事後学修	復習としては、期末レポートの準備になるように毎回の授業での考察や気づき等をまとめる復習をしておくこと。					2 時間
2． 『沈黙』 「まえがき」「1章」-作品の歴史的背景・切支丹迫害概説・父性的イエス像						
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。					2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習					2 時間
3． 『沈黙』 「2 章」「3 章」-かくれ切支丹の信仰・雨の象徴表現・弱者と強者の信仰						
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。					2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習					2 時間

4. 『沈黙』 「4 章」-信徒の殉教と神の沈黙の問題・ユダの裏切りとイエスの愛の問題		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
5. 『沈黙』 「5 章」 「6 章」-罪について・キチジローの信仰・愛（アガペー）について		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
6. 『沈黙』 「7 章」 「8 章」-日本の精神風土とキリスト教の問題・母性的イエス像		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
7. 『沈黙』 「9 章」 「切支丹屋敷役人日記」-新たな信仰共同体黙の声とその聖書的背景		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
8. 前半まとめ		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、授業に参加してください。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
9. .ルイスの生涯とその作品について概説、福音書について（9～16 担当 高田ひかり）		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間
10. 『ライオンと魔女』―罪のテーマに着目して		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2時間
11. 『ライオンと魔女』―受肉、死と復活に着目して		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1 回分 2 時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2 時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2 時間

12. 『ライオンと魔女』―色彩から読み解く		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1回分2時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2時間
13. 『ライオンと魔女』―遊び、笑いのイメージ		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1回分2時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2時間
14. ルイスの「歓び」の神学について		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1回分2時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2時間
15. 「歓び」の神学とルイスの文学理論 16. 後半まとめ		
事前学修	集中講義は、1期15回分の予習（1回分2時間）を、事前に準備してのぞむことになります。それによって、授業が深く学べ、集中的に読解の力や知識を身につけることができます。授業の予習として、2冊のテキスト、『沈黙』と『ライオンと魔女』を事前に読んで、マナバのレポート機能を使って行う、両担当者の授業前リアクションレポートの質問に応じて、主体的な問題意識をもって授業に参加すること。	2時間
事後学修	授業での考察や気づき等をまとめる復習	2時間
試験等		
中間レポート・期末レポート（課題の内容については授業中に説明する）		
試験のフィードバックの方法		
必要に応じてマナバで行う。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
ライオンと魔女／C. S. ルイス／岩波書店／1300／9784001163711／冊子版		
遠藤周作『沈黙』新潮社（新潮文庫） [ISBN: 978-4101-123158]		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書 『聖書』（必ず持参すること） 参考書 C. S. ルイス『栄光の重み』（C. S. ルイス宗教著作集8）、西村徹訳、新教出版社、2004年。 C. S. ルイス『喜びのおとずれ：C. S. ルイス自叙伝』（富山房百貨文庫7）、早乙女忠・中村邦生訳、富山房、1994年。 遠藤周作『切支丹の里』中公文庫 山根道公『遠藤周作 その人生と「沈黙」』日本キリスト教団出版局		
オフィスアワー		
集中講義のため、質問・相談等は、授業終了後の休み時間、昼休みに受け付ける。また、随時、電子メールで受け付ける。		
連絡先		
山根道公<yamane@m.ndsu.ac.jp> 高田ひかり <s8335@m.ndsu.ac.jp>		
留意事項		
授業が一方通行にならないようにリアクションペーパーに感想・質問等を書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。		

芸術 I				【単位数		2単位	
授業コード	12250	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第 1 期		
担当者氏名	大谷 文彦						
時間割備考	8/18～22 キリスト教と音楽						
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
授業では、西洋音楽が中世以来のグレゴリオ聖歌を媒体に数百年かけて典礼・音楽両面から次第に形を変え発展していき、宗教改革以降、その媒体をコラール（プロテスタント賛美歌）に変えてなお進化し続けた様子を考察する。時限ごとの始めに、前半はグレゴリオ聖歌を1曲、後半はコラールを1曲歌い、中世のオルガヌムやルネサンスのミサ曲、バロックの聖務日課や受難曲などをオリジナル楽器で鑑賞しながら、祈りのひとつとして民衆に受け入れられていった宗教音楽を味わっていく。							
アクティブラーニングの実施内容							
到達目標						対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	・グレゴリオ聖歌やコラール、中世からバロック期までの宗教音楽を考察して、その魅力を感じるとともに、該当期間の西洋音楽の変遷に興味を持つ。						
2	・音楽に対する今まで知らなかった新しい視点に気づくことによって、物事を多角的に見る経験をする。						
3	・期間中にグレゴリオ聖歌を1曲、覚えることができる。						
4							
5							
成績評価の基準						対応する到達目標の番号	
1	・授業中の関心・態度 （一日ごとに、その日の21:00までにmanabaを使って提出したレポートの内容）：50%						
2	・授業中の関心・態度 （レポート提出全5回一回の回数）：25% （質問や発言の回数）：15%						
3	・聖歌暗譜唱：10%						
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目				実務あり			
実務経験の授業への活用方法							
・その当時の演奏解釈による古楽演奏活動をしていたり、 ・教会聖歌隊、オルガニストとして現在の日本のミサに関わっていたり、 ・スイスパーゼルで古楽を学んだ経験や ・少年期に、教会でグレゴリオ聖歌を歌っていたという経験を活かして、 実践に裏付けされた理論を展開する。							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間			
I グレゴリオ聖歌とその変遷							
1 グレゴリオ聖歌と教会旋法							
事前学修	・授業に出て、眠らないでちゃんと聞いていれば、難易度は決して高くない。						
事後学修	・何かを発見するような聞き方をしてメモしていれば、後でのレポートに役立つ。						
2 トロープスとゼクウェンツィア							
事前学修							
事後学修							
II ポリフォニー音楽の発展							
3 定旋律とオルガヌム							
事前学修							
事後学修							
4 ノートルダム楽派とモドゥスリズム							
事前学修							
事後学修							
5 定量記譜法							
事前学修							
事後学修							

6 ギョーム・ド・マシヨール		
事前学修		
事後学修		
Ⅲ ルネサンスの音楽		
7 ギョーム・デュファイ		
事前学修		
事後学修		
8 フランドル楽派 ジョスカン・デ・プレ		
事前学修		
事後学修		
9 フランドル楽派 ヨハネス・オケゲム		
事前学修		
事後学修		
Ⅳ 初期バロックのイタリア音楽		
10 カメラータとモノディー様式		
事前学修		
事後学修		
11 モンテヴェルディ「マドリガーレ集」		
事前学修		
事後学修		
12 モンテヴェルディ「聖母マリアの夕べの祈り」		
事前学修		
事後学修		

V 後期バロックのドイツ音楽		
13 バッハ「マタイ受難曲」①		
事前学修		
事後学修		
14 バッハ「マタイ受難曲」②		
事前学修		
事後学修		
15 バッハ「マタイ受難曲」③		
事前学修		
事後学修		
試験等		
・ 毎日の感想等をまとめた5回のレポート （何を教師が語ったかを書くのではなく、感想や気がついたこと、発見や自分の体験なども併せて具体的に書けると良い） ・ 16時限目に聖歌歌唱の実技試験を暗譜で行う。歌唱の技術は問わない。		
試験のフィードバックの方法		
1日（3～4時限分終了後）のレポートに対して次の時間（翌日）にコメントを行いながら授業を進める。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<必携書> 「中世・ルネサンスの音楽」， 皆川達夫，講談社学術文庫		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
それぞれの授業の前に、参考文献として楽譜等を配布する。ファイルないしはクリアーフォルダーを準備してほしい。		
オフィスアワー		
質問は授業中、またはレポートの中で随時受ける。		
連絡先		
s8020@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
・ ある程度、楽譜が読めれば幸いだ。		

芸術A				単位数		2単位	
授業コード	12255	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	大谷 文彦						
時間割備考	8/18～22 キリスト教と音楽						
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
授業では、西洋音楽が中世以来のグレゴリオ聖歌を媒体に数百年かけて典礼・音楽両面から次第に形を変え発展していき、宗教改革以降、その媒体をコラール（プロテスタント賛美歌）に変えてなお進化し続けた様子を考察する。時限ごとの始めに、前半はグレゴリオ聖歌を1曲、後半はコラールを1曲歌い、中世のオルガヌムやルネサンスのミサ曲、バロックの聖務日課や受難曲などをオリジナル楽器で鑑賞しながら、祈りのひとつとして民衆に受け入れられていった宗教音楽を味わっていく。							
アクティブラーニングの実施内容							
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）			
1	・グレゴリオ聖歌やコラール、中世からバロック期までの宗教音楽を考察して、その魅力を感じるとともに、該当期間の西洋音楽の変遷に興味を持つ。						
2	・音楽に対する今まで知らなかった新しい視点に気づくことによって、物事を多角的に見る経験をする。						
3	・期間中にグレゴリオ聖歌を1曲、覚えることができる。						
4							
5							
成績評価の基準				対応する到達目標の番号			
1	・授業中の関心・態度 （一日ごとに、その日の21:00までにmanabaを使って提出したレポートの内容）：50%						
2	・授業中の関心・態度 （レポート提出全5回一回の回数）：25%						
3	・聖歌暗譜唱：10%						
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目		実務あり					
実務経験の授業への活用方法							
・その当時の演奏解釈による古楽演奏活動をしていたり、 ・教会聖歌隊、オルガニストとして現在の日本のミサに関わっていたり、 ・スイスバーゼルで古楽を学んだ経験や ・少年期に、教会でグレゴリオ聖歌を歌っていたという経験を活かして、 実践に裏付けされた理論を展開する。							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間					
Ⅰ グレゴリオ聖歌とその変遷							
1 グレゴリオ聖歌と教会旋法							
事前学修	・授業に出て、眠らないでちゃんと聞いていれば、難易度は決して高くない。						
事後学修	・何かを発見するような聞き方をしてメモしていれば、後でのレポートに役立つ。						
2 トロープスとゼクウェンツィア							
事前学修							
事後学修							
Ⅱ ポリフォニー音楽の発展							
3 定旋律とオルガヌム							
事前学修							
事後学修							
4 ノートルダム楽派とモドゥスリズム							
事前学修							
事後学修							
5 定量記譜法							
事前学修							
事後学修							

6 ギョーム・ド・マシヨー		
事前学修		
事後学修		
Ⅲ ルネサンスの音楽		
7 ギョーム・デュファイ		
事前学修		
事後学修		
8 フランドル楽派 ジョスカン・デ・ブレ		
事前学修		
事後学修		
9 フランドル楽派 ヨハネス・オケゲム		
事前学修		
事後学修		
Ⅳ 初期バロックのイタリア音楽		
10 カメラータとモノディー様式		
事前学修		
事後学修		
11 モンテヴェルディ「マドリガーレ集」		
事前学修		
事後学修		
12 モンテヴェルディ「聖母マリアのタベの祈り」		
事前学修		
事後学修		

V 後期バロックのドイツ音楽		
13 バッハ「マタイ受難曲」①		
事前学修		
事後学修		
14 バッハ「マタイ受難曲」 ②		
事前学修		
事後学修		
15 バッハ「マタイ受難曲」 ③		
事前学修		
事後学修		
試験等		
・ 毎日の感想等をまとめた5回のレポート （何を教師が語ったかを書くのではなく、感想や気がついたこと、発見や自分の体験なども併せて具体的に書けると良い） ・ 16時限目に聖歌歌唱の実技試験を暗譜で行う。歌唱の技術は問わない。		
試験のフィードバックの方法		
1日（3～4時限分終了後）のレポートに対して次の時間（翌日）にコメントを行いながら授業を進める。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜必携書＞ 「中世・ルネサンスの音楽」， 皆川達夫， 講談社学術文庫		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
それぞれの授業の前に、参考文献として楽譜等を配布する。ファイルないしはクリアーフォルダーを準備してほしい。		
オフィスアワー		
質問は授業中、またはレポートの中で随時受ける。		
連絡先		
s8020@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
・ ある程度、楽譜が読めれば幸いだ。		

芸術 I I I				単位数	2単位
授業コード	12270	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第 1 期
担当者氏名	池上 公平				
時間割備考	9/8～12 キリスト教と美術				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
伝統的なヨーロッパの美術においては主題の過半がキリスト教のものであるが、それらを理解するためには、キリスト教に関する知識に加え、キリスト教主題がどのように表現されるか、その様相と歴史を知る必要がある。そして、それはヨーロッパ以外すなわちアジア・アフリカ・アメリカ大陸のキリスト教美術を理解する上で必須のものである。本講義では、その基礎を学ぶ。ここで学ぶことは、美術にとどまらず、文学、音楽、演劇、ひいてはキリスト教そのものの理解にも役立つであろう。ただし、様々な制約があるため、イエス・キリストに関する主題のみを扱うこととしたい。また、日本におけるキリスト教受容の一側面としていわゆるキリシタン美術について、さらに日本を含めた現代のキリスト教美術についても触れることとする。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	イエス・キリストに関する主題を扱った美術作品を見て、その主題を理解し、説明することができる。				知識・技能
2	ある主題の時代や地域による展開について理解し、説明することができる。				知識・技能
3	日本におけるキリスト教の受容を通して、異文化の受容について関心を持ち、考えることができる。				主体性
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	主題とその典拠を正しく理解し、説明することができる。				1
2	それぞれの主題の表現について、正しく理解し、説明することができる。				2
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 ガイダンス					
事前学修	各回の内容について、参考文献の該当箇所を読んでおく。授業後には内容をまとめておき、小レポートに反映させること。事前事後の学修について合計1時間程度をあてることが望ましい。				参考文献の該当箇所を読んでおく。
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。				
2 キリストの表現					
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。				
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。				
3 キリストの幼年時代1（受胎告知）					
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。				
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。				
4 キリストの幼年時代2（降誕、羊飼いの礼拝、東方三博士の礼拝）					
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。				
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。				
5 キリストの公生涯1（キリストの洗礼、キリストの試練、ペトロとアンデレの召命）					
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。				
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。				

6 キリストの公生涯2（キリストの変容、法と鍵の授与）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
7 キリストの公生涯3（パンと魚の奇跡、カナの婚宴）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
8 キリストの公生涯4（ラザロの復活、シモンの家のキリスト）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
9 キリストの受難1（エルサレム入城、神殿からの商人追放、最後の晩餐、使徒たちの聖体拝領）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
10 キリストの受難2（使徒たちの足を洗うキリスト、ゲッセマネの祈り、キリストの逮捕、ペトロの否認、キリストの鞭打ち）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
11 キリストの受難3（キリストの磔刑）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
12 キリストの復活（十字架降下、ピエタ、キリストの墓を訪れる聖女たち、われに触れるな、エマオの晩餐、キリストの復活）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	

13 キリシタン美術		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
14 現代のキリスト教美術／キリスト教美術の現代		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
15 まとめ		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
試験等		
16回目に試験を行う予定。		
試験のフィードバックの方法		
試験終了後に解答例を配布する。小レポートにはできる限り授業時にコメントするが、時間の制約があるので、できない場合もあることをあらかじめ承知しておいてほしい。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
使用しない。		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<参考書>		
『聖書』（新共同訳が望ましいが、その他の訳でもかまわない。以下のURLから参照することもできる。） https://www.bible.com/ja/bible/1819/JHN.1.%E6%96%B0%E5%85%B1%E5%90%8C%E8%A8%B3 荒井献編『新約聖書外典』講談社 ジェイムズ・ホール『西洋美術解説事典』高階秀爾監修 河出書房新社 ピーター・マレイ、リンダ・マレイ『オックスフォードキリスト教美術・建築事典』中森義宗監訳 東信堂		
オフィスアワー		
質問は随時受け付ける。授業時でもメール、manabafolioでも可。		
連絡先		
ikegamik@kyoritsu-wu.ac.jp		
留意事項		

芸術B				単位数	2単位
授業コード	12275	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	池上 公平				
時間割備考	9/8～12 キリスト教と美術				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
伝統的なヨーロッパの美術においては主題の過半がキリスト教のものであるが、それらを理解するためには、キリスト教に関する知識に加え、キリスト教主題がどのように表現されるか、その様相と歴史を知る必要がある。そして、それはヨーロッパ以外すなわちアジア・アフリカ・アメリカ大陸のキリスト教美術を理解する上で必須のものである。本講義では、その基礎を学ぶ。ここで学ぶことは、美術にとどまらず、文学、音楽、演劇、ひいてはキリスト教そのものの理解にも役立つであろう。ただし、様々な制約があるため、イエス・キリストに関する主題のみを扱うこととしたい。また、日本におけるキリスト教受容の一側面としていわゆるキリシタン美術について、さらに日本を含めた現代のキリスト教美術についても触れることとする。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	イエス・キリストに関する主題を扱った美術作品を見て、その主題を理解し、説明することができる。				知識・技能
2	ある主題の時代や地域による展開について理解し、説明することができる。				知識・技能
3	日本におけるキリスト教の受容を通して、異文化の受容について関心を持ち、考えることができる。				主体性
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	主題とその典拠を正しく理解し、説明することができる。				1
2	それぞれの主題の表現について、正しく理解し、説明することができる。				2
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 ガイダンス					
事前学修	各回の内容について、参考文献の該当箇所を読んでおく。授業後には内容をまとめておき、小レポートに反映させること。事前事後の学修について合計1時間程度をあてることが望ましい。				参考文献の該当箇所を読んでおく。
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。				
2 キリストの表現					
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。				
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。				
3 キリストの幼年時代1（受胎告知）					
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。				
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。				
4 キリストの幼年時代2（降誕、羊飼いの礼拝、東方三博士の礼拝）					
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。				
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。				
5 キリストの公生涯1（キリストの洗礼、キリストの試練、ペトロとアンデレの召命）					
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。				
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。				

6 キリストの公生涯2（キリストの変容、法と鍵の授与）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
7 キリストの公生涯3（パンと魚の奇跡、カナの婚宴）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
8 キリストの公生涯4（ラザロの復活、シモンの家のキリスト）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
9 キリストの受難1（エルサレム入城、神殿からの商人追放、最後の晩餐、使徒たちの聖体拝領）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
10 キリストの受難2（使徒たちの足を洗うキリスト、ゲッセマネの祈り、キリストの逮捕、ペトロの否認、キリストの鞭打ち）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
11 キリストの受難3（キリストの磔刑）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
12 キリストの復活（十字架降下、ピエタ、キリストの墓を訪れる聖女たち、われに触れるな、エマオの晩餐、キリストの復活）		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	

13 キリシタン美術		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
14 現代のキリスト教美術／キリスト教美術の現代		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
15 まとめ		
事前学修	参考文献の該当箇所を読んでおく。	
事後学修	内容をまとめておき、小レポートに反映させる。	
試験等		
16回目に試験を行う予定。		
試験のフィードバックの方法		
試験終了後に解答例を配布する。小レポートにはできる限り授業時にコメントするが、時間の制約があるので、できない場合もあることをあらかじめ承知しておいてほしい。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
使用しない。		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<参考書>		
『聖書』（新共同訳が望ましいが、その他の訳でもかまわない。以下のURLから参照することもできる。） https://www.bible.com/ja/bible/1819/JHN.1.%E6%96%B0%E5%85%B1%E5%90%8C%E8%A8%B3 荒井献編『新約聖書外典』講談社 ジェイムズ・ホール『西洋美術解説事典』高階秀爾監修 河出書房新社 ピーター・マレイ、リンダ・マレイ『オックスフォードキリスト教美術・建築事典』中森義宗監訳 東信堂		
オフィスアワー		
質問は随時受け付ける。授業時でもメール、manabafolioでも可。		
連絡先		
ikegamik@kyoritsu-wu.ac.jp		
留意事項		

芸術ⅠⅤ				単位数	2単位
授業コード	12280	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	谷川 ゆき、森下 麻衣子				
時間割備考	9/16～19				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	1 講義				
担当形態	オムニバス				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
日本美術史の入門講座。絵画を中心に、画題・テーマ別にさまざまな作品を取りあげ、日本の美術工芸品の表現について理解を深めることを目的とする。前半は谷川が担当し前近代の作例を、後半は森下が担当し、近代の作例を取り上げる。各講義のテーマに照らして各時代の重要作品を提示し、制作年代や作者、媒体（画面形式など）による表現の差異や多様性を講じる。あわせて展覧会の見学会を行って、主体的に美術工芸品を理解する力を身につけることを目指す。					
アクティブラーニングの実施内容		体験学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	日本美術史の重要作品について、基本的な知識を運用できる。			知識・技能	
2	日本美術に関する知識や考えを、他者に説明できる。			思考・判断・表現力	
3	自ら主体的に、美術館や博物館での見学を実行できる。			主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	集中講義1日ごとの小テスト（リアクションペーパー）（40%）			1／2	
2	まとめレポート（60%）			1／2／3	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
集中講義1日目（担当：谷川ゆき）					
①宗教美術と物語					
事前学修	シラバスを参考に、講義内容に関連する、日本美術史・日本文化史の概説書に目を通し、特に時代背景について大まかな知識を身につけておく。集中講義開始前に、最低1週間程度かけて通読しておくとい。				
事後学修	事後学修として、関連する展覧会に足を運ぶことで、講義で学んだことが実践に生かされるであろう。				
②説話物語と絵画					
事前学修					
事後学修					
③源氏物語と絵画					
事前学修					
事後学修					
④伊勢物語と絵画					
事前学修					
事後学修					
集中講義2日目（担当：谷川ゆき）					
⑤平家物語と絵画					
事前学修					
事後学修					

⑥御伽草子と絵画		
事前学修		
事後学修		
⑦作品鑑賞の手引と、展覧会見学のポイント		
事前学修		
事後学修		
⑧展覧会見学（近隣の美術館・博物館での見学を予定しています。詳細はmanaba等で告知します。シラパス「留意事項」も参照のこと）		
事前学修		
事後学修		
集中講義3日目（担当：森下麻衣子）		
⑨日本画の中の人物表現(1) 歴史画		
事前学修		
事後学修		
⑩日本画の中の人物表現(2) 美人画とその他		
事前学修		
事後学修		
⑪近代の花鳥・動物表現		
事前学修		
事後学修		
集中講義4日目（担当：森下麻衣子）		
⑫幸野楳嶺の美術		
事前学修		
事後学修		

⑬竹内栖鳳の美術		
事前学修		
事後学修		
⑭国画創作協会の画家たちの美術		
事前学修		
事後学修		
⑮展覧会見学（夢二郷土美術館を予定。詳細はmanaba等で告知します。シラバス「留意事項」も参照のこと）		
事前学修		
事後学修		
試験等		
講義1日目・2日目・3日目・4日目に、授業の理解度をみるためのリアクションペーパーを提出。詳細はmanabaにて通知する。 講義全体を通じて学んだことを活かした最終レポートを出題する。詳細はmanabaにて通知する。		
試験のフィードバックの方法		
manabaに解答のポイントを掲載する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
使用しない。		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
推薦する参考書：『日本美術史』、2014年、山下裕二・高岸輝監修、美術出版社（ISBN-10：4568389070）		
オフィスアワー		
授業終了後に教室で質問を受け付けます。		
連絡先		
谷川 yukiitnkw@gmail.com		
森下 maiko.m@umam.jp		
留意事項		
○講義日程（予定）について		
集中講義1日目：9月16日 1時限～4時限（対面） 担当：谷川		
集中講義2日目：9月17日 1時限～4時限（対面） 担当：谷川		
集中講義3日目：9月18日 1時限～3時限（対面） 担当：森下		
集中講義4日目：9月19日 1時限～4時限（対面） 担当：森下		
○学外見学について		
集中講義2日目、4日目の午後に、学外での展覧会見学を予定しています。交通費等の費用は自己負担となりますのでご了承ください。 また、新型コロナウイルス感染症の状況により、見学を中止し、学内での講義に代替する可能性があります。		

芸術C				単位数	2単位
授業コード	12285	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	谷川 ゆき、森下 麻衣子				
時間割備考	9/16～19				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	1 講義				
担当形態	オムニバス				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
日本美術史の入門講座。絵画を中心に、画題・テーマ別にさまざまな作品を取りあげ、日本の美術工芸品の表現について理解を深めることを目的とする。前半は谷川が担当し前近代の作例を、後半は森下が担当し、近代の作例を取り上げる。各講義のテーマに照らして各時代の重要作品を提示し、制作年代や作者、媒体（画面形式など）による表現の差異や多様性を講じる。あわせて展覧会の見学会を行って、主体的に美術工芸品を理解する力を身につけることを目指す。					
アクティブラーニングの実施内容		体験学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	日本美術史の重要作品について、基本的な知識を運用できる。			知識・技能	
2	日本美術に関する知識や考えを、他者に説明できる。			思考・判断・表現力	
3	自ら主体的に、美術館や博物館での見学を実行できる。			主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	集中講義1日ごとの小テスト（リアクションペーパー）（40%）			1／2	
2	まとめレポート（60%）			1／2／3	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
集中講義1日目（担当：谷川ゆき）					
①宗教美術と物語					
事前学修	シラバスを参考に、講義内容に関連する、日本美術史・日本文化史の概説書に目を通し、特に時代背景について大まかな知識を身につけておく。集中講義開始前に、最低1週間程度かけて通読しておくといふ。				
事後学修	事後学修として、関連する展覧会に足を運ぶことで、講義で学んだことが実践に生かされるであろう。				
②説話物語と絵画					
事前学修					
事後学修					
③源氏物語と絵画					
事前学修					
事後学修					
④伊勢物語と絵画					
事前学修					
事後学修					
集中講義2日目（担当：谷川ゆき）					
⑤平家物語と絵画					
事前学修					
事後学修					

⑥御伽草子と絵画		
事前学修		
事後学修		
⑦作品鑑賞の手引と、展覧会見学のポイント		
事前学修		
事後学修		
⑧展覧会見学（近隣の美術館・博物館での見学を予定しています。詳細はmanaba等で告知します。シラパス「留意事項」も参照のこと）		
事前学修		
事後学修		
集中講義3日目（担当：森下麻衣子）		
⑨日本画の中の人物表現(1) 歴史画		
事前学修		
事後学修		
⑩日本画の中の人物表現(2) 美人画とその他		
事前学修		
事後学修		
⑪近代の花鳥・動物表現		
事前学修		
事後学修		
集中講義4日目（担当：森下麻衣子）		
⑫幸野楳嶺の美術		
事前学修		
事後学修		

⑬竹内栖鳳の美術		
事前学修		
事後学修		
⑭国画創作協会の画家たちの美術		
事前学修		
事後学修		
⑮展覧会見学（夢二郷土美術館を予定。詳細はmanaba等で告知します。シラバス「留意事項」も参照のこと）		
事前学修		
事後学修		
試験等		
講義1日目・2日目・3日目・4日目に、授業の理解度をみるためのリアクションペーパーを提出。詳細はmanabaにて通知する。 講義全体を通じて学んだことを活かした最終レポートを出題する。詳細はmanabaにて通知する。		
試験のフィードバックの方法		
manabaに解答のポイントを掲載する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
使用しない。		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
推薦する参考書：『日本美術史』、2014年、山下裕二・高岸輝監修、美術出版社（ISBN-10：4568389070）		
オフィスアワー		
授業終了後に教室で質問を受け付けます。		
連絡先		
谷川 yukiitnkw@gmail.com		
森下 maiko.m@umam.jp		
留意事項		
○講義日程（予定）について		
集中講義1日目：9月16日 1時限～4時限（対面） 担当：谷川		
集中講義2日目：9月17日 1時限～4時限（対面） 担当：谷川		
集中講義3日目：9月18日 1時限～3時限（対面） 担当：森下		
集中講義4日目：9月19日 1時限～4時限（対面） 担当：森下		
○学外見学について		
集中講義2日目、4日目の午後に、学外での展覧会見学を予定しています。交通費等の費用は自己負担となりますのでご了承ください。 また、新型コロナウイルス感染症の状況により、見学を中止し、学内での講義に代替する可能性があります。		

歴史学ⅠⅠⅠ				単位数	2単位
授業コード	12330	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	鈴木 真				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
近代に至るまでの東アジア世界の国際秩序のあり方を、おもに中国王朝・皇帝・儒教（儒家思想）の視点から、漢文史料を中心に用いて講義する。中国の皇帝の本質は「天子」であり、理念上では「天」から、「天下」のすべてを統治する権限を与えられた存在である。こうした理念は当然、現実の東アジア世界の事態とは乖離する。そうした中で歴代の中国王朝は、「華夷」思想という概念を用いながら、自らを中心とする東アジア世界の国際秩序を、さまざまな方策により構築・維持してきた。そしてそのような過程で理論化された「華夷」の概念は、周辺の朝鮮半島や日本列島等にも拡大され、それは近代以降の東アジア世界にも大きな影響を及ぼすことになるのである。					
アクティブラーニングの実施内容		発見学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	近代に至るまでの東アジア世界の国際秩序がどのように形成され、また時代によってどのように変化していったのか、その特徴について説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
2	前近代の東アジア世界の国々が、現代の国際社会とは異なる理論・秩序によって結びついていたこと、それが近代以降にどのような影響を及ぼしていったのかについて説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
3	また上記のような理論・秩序の思想的背景を、儒教（儒家思想）や皇帝支配との関係から説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	小レポート：10%			1／2	
2	期末試験：90% （「持込み不可」の長文論述試験を、対面でおこなう）			1／2	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1. 「中国」とは何か					
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前にシラバスを熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。				60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。				120分
2. 「中華」と「天子」の世界観					
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。				60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。				120分
3. 華と夷を分けるもの					
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。				60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。				120分
4. 天子と皇帝と王					
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。				60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。				120分
5. 朝貢と冊封					
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。				60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。				120分

6. 東アジア世界の天子と封貢（～5世紀）		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
7. 東アジア世界の天子と封貢（～9世紀）		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
8. 東アジア世界の天子と封貢（～13世紀）		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
9. 朱子学と華夷秩序		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
10. 華夷秩序の再編と海禁		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
11. 南海遠征と朝貢国の拡大		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
12. 朝鮮王朝と小中華		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分

13. 朝鮮燕行使と朝鮮通信使		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
14. 朝貢と互市		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
15. 東アジア世界における国際秩序の崩壊と再編		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付するので、講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと（毎回1時間程度）。	120分
試験等		
第16回に期末試験（長文論述形式・持込不可・対面）をおこなう。		
試験のフィードバックの方法		
解説をおこなう。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜参考書等＞		
参考文献は講義中に適宜紹介する。また、毎回資料プリントを配付する。		
オフィスアワー		
月曜日の4時限（14:45～16:15）		
連絡先		
suzukimakoto@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
講義中、指名しての発言を求めることがある。 成績評価、および出欠管理は厳格におこなう。 期末試験は、長文の論述形式でおこなう（持込不可・対面）。ただし状況によってはレポート課題に変更することもある。		

歴史学B				単位数		2単位	
授業コード	12335	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	鈴木 真						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）	1 講義						
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
近代に至るまでの東アジア世界の国際秩序のあり方を、おもに中国王朝・皇帝・儒教（儒家思想）の視点から、漢文史料を中心に用いて講義する。中国の皇帝の本質は「天子」であり、理念上では「天」から、「天下」のすべてを統治する権限を与えられた存在である。こうした理念は当然、現実の東アジア世界の事態とは乖離する。そうした中で歴代の中国王朝は、「華夷」思想という概念を用いながら、自らを中心とする東アジア世界の国際秩序を、さまざまな方策により構築・維持してきた。そしてそのような過程で理論化された「華夷」の概念は、周辺の朝鮮半島や日本列島等にも拡大され、それは近代以降の東アジア世界にも大きな影響を及ぼすことになるのである。							
アクティブラーニングの実施内容		発見学習					
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）		
1	近代に至るまでの東アジア世界の国際秩序がどのように形成され、また時代によってどのように変化していったのか、その特徴について説明できる。				知識・技能／思考・判断・表現力		
2	前近代の東アジア世界の国々が、現代の国際社会とは異なる理論・秩序によって結びついていたこと、それが近代以降にどのような影響を及ぼしていったのかについて説明できる。				知識・技能／思考・判断・表現力		
3	また上記のような理論・秩序の思想的背景を、儒教（儒家思想）や皇帝支配との関係から説明できる。				知識・技能／思考・判断・表現力		
4							
5							
成績評価の基準					対応する到達目標の番号		
1	小レポート：10%				1／2		
2	期末試験：90% （「持込み不可」の長文論述試験を、対面でおこなう）				1／2		
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間					
1. 「中国」とは何か							
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前にシラバスを熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。					60分	
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。					120分	
2. 「中華」と「天子」の世界観							
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。					60分	
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。					120分	
3. 華と夷を分けるもの							
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。					60分	
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。					120分	
4. 天子と皇帝と王							
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。					60分	
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。					120分	
5. 朝貢と冊封							
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。					60分	
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。					120分	

6. 東アジア世界の天子と封貢（～5世紀）		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
7. 東アジア世界の天子と封貢（～9世紀）		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
8. 東アジア世界の天子と封貢（～13世紀）		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
9. 朱子学と華夷秩序		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
10. 華夷秩序の再編と海禁		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
11. 南海遠征と朝貢国の拡大		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
12. 朝鮮王朝と小中華		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分

13. 朝鮮燕行使と朝鮮通信使		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
14. 朝貢と互市		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
15. 東アジア世界における国際秩序の崩壊と再編		
事前学修	毎回、漢文史料を中心とする資料プリントを配付する。講義の前に熟読して内容を把握し、わからない用語や概念については各自調べておくこと。	60分
事後学修	資料プリントの内容を復習するとともに、関係する書籍を読み、理解を深めておくこと。	120分
試験等		
第16回に期末試験（長文論述形式・持込不可・対面）をおこなう。		
試験のフィードバックの方法		
解説をおこなう。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜参考書等＞		
参考文献は講義中に適宜紹介する。また、毎回資料プリントを配付する。		
オフィスアワー		
月曜日の4時限（14:45～16:15）		
連絡先		
suzukimakoto@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
講義中、指名しての発言を求めることがある。 成績評価、および出欠管理は厳格におこなう。 期末試験は、長文の論述形式でおこなう（持込不可・対面）。ただし状況によってはレポート課題に変更することもある。		

歴史学ⅠⅤ				単位数		2単位	
授業コード	12340	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期		
担当者氏名	轟木 広太郎						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
前半は大学の歴史学への導入として、古代都市の遺跡を材料に、古代ローマ人の社会と生活について紹介するとともに、16世紀以降の西欧を中心とした世界のグローバル化を説明する理論である「世界システム論」を紹介する。後半は、社会史の具体例として、「性愛」と「富と貧困」のテーマを取り上げる。							
アクティブラーニングの実施内容							
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）			
1	高校の世界史科目を発展させて、新たな世界史像の知識と方法論を獲得する。			知識・技能／思考・判断・表現力			
2	現代とは異なる過去の世界の考え方や感じ方、行動様式、慣習などについて、社会史の方法論に習熟する。			知識・技能／思考・判断・表現力			
3							
4							
5							
成績評価の基準				対応する到達目標の番号			
1	平常点30%			1／2			
2	レポート70% ただし、受講者が少なければ試験に代えることもある。			1／2			
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間			
1. イントロダクション							
事前学修	シラバスを読んで、分からない用語等について調べておく。					2時間	
事後学修	講義内容で興味を持ったテーマについて自由に調べる。					2時間	
2. 遺跡から見る古代ローマ；生活の諸相							
事前学修	ポンペイという古代ローマ都市について基本的事実を調べておく。					2時間	
事後学修	配布した資料を読み直すとともに、古代ローマ都市一般について興味を持ったことを調べる。					2時間	
3. 遺跡から見る古代ローマ；「パンとサーカス」							
事前学修	「パンとサーカス」の意味について調べておく。					2時間	
事後学修	配布した資料を読み直すとともに、古代ローマの皇帝について興味を持ったことを調べる。					2時間	
4. 世界システム論；理論のあらまし							
事前学修	「グローバル化」という言葉がどのように使われているか、調べておく。					2時間	
事後学修	高校世界史（あるいは歴史総合）の教科書で、この理論がどのように活かされているか、調べる。					2時間	
5. 世界システム論；ヘゲモニー国家							
事前学修	大航海時代について基本的事実を調べておく。					2時間	
事後学修	18世紀中の英仏間の植民地紛争についてあらましを調べる。					2時間	

6. 世界システム論；世界商品		
事前学修	石油が現代世界でどう採掘・流通しているか、基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	授業の内容を踏まえて、興味を持った石油以外の世界商品について調べる。	2時間
7. 世界システム論；政治への影響		
事前学修	イギリスの産業革命について基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	授業の内容を踏まえて、プランテーションについて興味を持ったことを調べる。	2時間
8. 世界システム論；南北問題		
事前学修	南北問題について基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	南北問題を象徴する南の国を探し、その国の状況について調べる。	2時間
9. 性愛の社会史；初期キリスト教		
事前学修	「七つの大罪」という言葉の意味を調べておく。	2時間
事後学修	聖アウグスティヌスについて興味を持ったことを調べる。	2時間
10. 性愛の社会史；中世		
事前学修	告解（懺悔）について基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	授業内容を踏まえて、宮廷風恋愛について調べる。	2時間
11. 性愛の社会史；近世		
事前学修	結婚の秘蹟について調べてみる。	2時間
事後学修	授業内容を踏まえて、ルターについて興味を持ったことを調べてみる。	2時間
12. 性愛の社会史；近現代		
事前学修	トーマス・ロバート・マルサスについて基本的事実を調べる。	2時間
事後学修	現代社会の人口爆発と人口制限について調べる。	2時間

13. 富と貧困の社会史；初期キリスト教		
事前学修	イエス・キリストについて基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	新約聖書中の富と貧困についてのイエスの発言を探す。	2時間
14. 富と貧困の社会史；中世		
事前学修	キリスト教の慈善について基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	授業の内容を踏まえて、托鉢修道会について興味を持ったことを調べる。	2時間
15. 富と貧困の社会史；近世		
事前学修	絶対王政について基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	授業の内容を踏まえて、歴史上の監獄について興味を持ったことを調べる。	
試験等		
レポートを課す。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
毎回の授業で資料教材を配布する。		
オフィスアワー		
授業中に指示する。		
連絡先		
ktodoroki@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		

歴史学C			単位数		2単位
授業コード	12345	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	轟木 広太郎				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
前半は大学の歴史学への導入として、古代都市の遺跡を材料に、古代ローマ人の社会と生活について紹介するとともに、16世紀以降の西欧を中心とした世界のグローバル化を説明する理論である「世界システム論」を紹介する。後半は、社会史の具体例として、「性愛」と「富と貧困」のテーマを取り上げる。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	高校の世界史科目を発展させて、新たな世界史像の知識と方法論を獲得する。			知識・技能／思考・判断・表現力	
2	現代とは異なる過去の世界の考え方や感じ方、行動様式、慣習などについて、社会史の方法論に習熟する。			知識・技能／思考・判断・表現力	
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	平常点30%			1／2	
2	レポート70% ただし、受講者が少なければ試験に代えることもある。			1／2	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間	
1. イントロダクション					
事前学修	シラバスを読んで、分からない用語等について調べておく。			2時間	
事後学修	講義内容で興味を持ったテーマについて自由に調べる。			2時間	
2. 遺跡から見る古代ローマ；生活の諸相					
事前学修	ポンペイという古代ローマ都市について基本的事実を調べておく。			2時間	
事後学修	配布した資料を読み直すとともに、古代ローマ都市一般について興味を持ったことを調べる。			2時間	
3. 遺跡から見る古代ローマ；「パンとサーカス」					
事前学修	「パンとサーカス」の意味について調べておく。			2時間	
事後学修	配布した資料を読み直すとともに、古代ローマの皇帝について興味を持ったことを調べる。			2時間	
4. 世界システム論；理論のあらまし					
事前学修	「グローバル化」という言葉がどのように使われているか、調べておく。			2時間	
事後学修	高校世界史（あるいは歴史総合）の教科書で、この理論がどのように活かされているか、調べる。			2時間	
5. 世界システム論；ヘゲモニー国家					
事前学修	大航海時代について基本的事実を調べておく。			2時間	
事後学修	18世紀中の英仏間の植民地紛争についてあらましを調べる。			2時間	

6. 世界システム論；世界商品		
事前学修	石油が現代世界でどう採掘・流通しているか、基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	授業の内容を踏まえて、興味を持った石油以外の世界商品について調べる。	2時間
7. 世界システム論；政治への影響		
事前学修	イギリスの産業革命について基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	授業の内容を踏まえて、プランテーションについて興味を持ったことを調べる。	2時間
8. 世界システム論；南北問題		
事前学修	南北問題について基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	南北問題を象徴する南の国を探し、その国の状況について調べる。	2時間
9. 性愛の社会史；初期キリスト教		
事前学修	「七つの大罪」という言葉の意味を調べておく。	2時間
事後学修	聖アウグスティヌスについて興味を持ったことを調べる。	2時間
10. 性愛の社会史；中世		
事前学修	告解（懺悔）について基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	授業内容を踏まえて、宮廷風恋愛について調べる。	2時間
11. 性愛の社会史；近世		
事前学修	結婚の秘蹟について調べてみる。	2時間
事後学修	授業内容を踏まえて、ルターについて興味を持ったことを調べてみる。	2時間
12. 性愛の社会史；近現代		
事前学修	トーマス・ロバート・マルサスについて基本的事実を調べる。	2時間
事後学修	現代社会の人口爆発と人口制限について調べる。	2時間

13. 富と貧困の社会史；初期キリスト教		
事前学修	イエス・キリストについて基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	新約聖書中の富と貧困についてのイエスの発言を探す。	2時間
14. 富と貧困の社会史；中世		
事前学修	キリスト教の慈善について基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	授業の内容を踏まえて、托鉢修道会について興味を持ったことを調べる。	2時間
15. 富と貧困の社会史；近世		
事前学修	絶対王政について基本的事実を調べておく。	2時間
事後学修	授業の内容を踏まえて、歴史上の監獄について興味を持ったことを調べる。	2時間
試験等		
レポートを課す。		
試験のフィードバックの方法		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
毎回の授業で資料教材を配布する。		
オフィスアワー		
授業中に指示する。		
連絡先		
ktodoroki@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		

日本国憲法Ⅰ【英日現国情】				単位数	2単位
授業コード	12380	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	浅沼 友恵				
時間割備考	1年次 文学部、国際文化学部、情報デザイン学部対象				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
テーマ「平和と人権」。近代憲法と呼ばれるためには、何よりも人権の保障がなければならない。また、日本国憲法が世界に誇れるのは平和主義である。日本国憲法を学ぶ意義は、自由で公正な社会を築くためには人はみなかけがえない大切な存在だという人間社会の根本にあるものを学ぶことであり、国民主権の理念が統治機構にどのように反映されているか知ることである。日本国内の憲法改正論、世界を取り巻く環境の変化に対して真の情報を得て自ら考えることが必要となってくる近年、「平和」の構築をはじめとする社会問題を考える基盤となるような最低限度の知識を身につけることを目的とする。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	日本国憲法の理念をその原点から正しく把握することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力
2	基本的人権や平和主義、国民主権を理解するとともに統治機構とその構造、関係性について理解できる。				知識・技能／思考・判断・表現力
3	憲法の理念を正しく理解したうえで平和や人権を希求することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
4	個人としてあるいは教職に就く人間として憲法を学ぶことは、よりよい社会の実現につながることを理解し、実践できるようになる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	①全体の3分の2以上の出席 並びに授業への取り組み 30%				1／2／3
2	②期末前の総合課題提出（パソコンやスマホによる提出）20%				1／2／3
3	③期末テスト（スマホやパソコン持参による教場試験）50% 、教科書ノート類の持ち込みなし。 ただし、この期末試験で60%に到達しなかった人はレポート提出あり。				1／2／3
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
Ⅰ. 日本国憲法の沿革					
① イントロダクション					
事前学修	日本国憲法と大日本帝国憲法の比較するので、それぞれの法の概要や性質の概要を知る。（事前学習30分）				
事後学修	日本国憲法と大日本帝国憲法の性質の違いについて理解する。（事後学習90分）				
② 日本国憲法誕生の背景					
事前学修	日本国憲法制定の過程やGHQが草案を作った経緯について歴史的背景を理解する。（事前学習30分）				
事後学修	日本国憲法制定の過程を知り、その根幹がどこからきているのか理解する。（事後学習90分）				
Ⅱ. 日本国憲法の三大理念と幸福追求権					
③ 基本的人権・国民主権					
事前学修	基本的人権の種類を知る。主権の意味を知る。（事前学習30分）				
事後学修	基本的人権の種類と性質について理解する。また国民主権とは何か理解する。（事前学習90分）				
④ 人権の始期・憲法の私人間効力					
事前学修	私人間とはどういう関係か。また、憲法の享有主体はだれか知る。（事前学習30分）				
事後学修	私人間同士の紛争に憲法はどのように関与するのか理解する。 人権の享有主体について理解する。国内の外国人の人権について理解する。 （事後学習90分）				

⑤ 幸福追求権・自己決定権		
事前学修	幸福追求権や自己決定権の言葉の意味を知る。（事前学習30分）	
事後学修	幸福追求権の種類や内容を理解し、自己決定権の内容について理解する。（事前学習 90分）	
Ⅲ. 自由権		
⑥ 思想・信条の自由・信教の自由・目的効果論・表現の自由		
事前学修	自由権のうち思想信条の自由とはどういうことか知る。（事前学習30分）	
事後学修	思想・信条の自由・信教の自由・表現の自由とはどういう内容か理解する。政教分離原則の判断基準（目的効果基準）を理解する。 （事後学習90分）	
⑦ 知る権利・教育の自由・人身の自由		
事前学修	知る権利・教育の自由・人身の自由について、言葉の意味を理解する。 （事前学習30分）	
事後学修	知る権利・教育の自由・人身の自由について理解し、今日の問題を理解する。 （事後学習90分）	
⑧ 経済的自由権・自由権に対する規制論		
事前学修	経済的自由権とは何か知る。（事前学習30分）	
事後学修	経済的自由権とは何か理解したうえで、自由権制約の二重規制論について理解する。（事後学習90分）	
Ⅳ. 法の下の平等		
⑨ 平等権		
事前学修	平等の種類を知る。（事前学習30分）	
事後学修	法の下の平等がどういうものか理解する。また、日本社会の平等について考える。（事後学習90分）	
Ⅴ. 社会権と憲法における女性の項目		
⑩生存権・憲法における家族		
事前学修	生存権とは何か理解する。 憲法の婚姻に関する条文を理解する。（事前学習30分）	
事後学修	生存権とは何か、またその法解釈論を理解する。 憲法の婚姻に関する条文の意味を知る。（事後学習90分）	
Ⅵ. 平和主義		
⑪ 平和主義（前文・9条の解釈）		
事前学修	憲法における平和主義がどこの条文にあるか、またそれはどのような内容になっているか知る。（事前学習30分）	
事後学修	憲法における平和主義の内容を知り、憲法解釈について理解する。（事後学習90分）	
⑫ 平和主義（自衛隊・PKO）		
事前学修	自衛隊の活動にはどのようなものがあるのか概要を調べる。（事前学習30分）	
事後学修	自衛隊の活動内容やPKO参加基準を知ることによって憲法改正論とどのように関係しているのか理解する。 （事後学習90分）	

Ⅶ. 日本の統治機構		
⑬ 三権分立・三審制		
事前学修	三権分立・三審制の制度の概要を理解する。（事前学習30分）	
事後学修	三権分立・三審制の制度を理解する。（事後学習90分）	
⑭ 両議院制・間接民主制		
事前学修	両議院制・間接民主制について理解する。（事前学習30分）	
事後学修	両議院制を理解する。直接民主制や間接民主制の制度理解とそのメリット・デメリットを理解する。（事後学習90分）	
⑮ 国民投票		
事前学修	国民投票制度と憲法改正論の概要を知る。（事前学習30分）	
事後学修	国民投票制度と憲法改正論について制度と内容を理解する。（事後学習90分）	
試験等		
第16回目に定期試験 持ち込みなし（教場にてスマホやパソコンによるオンライン提出）を実施。試験終了後フィードバックを実施。		
試験のフィードバックの方法		
定期試験終了後、解答・解説を講義する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜必携書＞ 『大学生のための憲法〔第2版〕』， 法律文化社，ISBN：784589043344 本体価格：2,500円		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし。		
オフィスアワー		
授業前後に質問を受けつけます。		
連絡先		
Email:s8001@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
課題やレポート提出、期末試験のために、manaba folio/Google classroom/Wordが使えるようにしておきましょう。 期末になると膨大な量になるので、その都度覚えるように復習をしましょう。（各回復習90分程度） また、毎日のニュースに関心を持つこと。高校までの教科書を復習することも有益。		

日本国憲法Ⅰ【人児食】				単位数	2単位
授業コード	12390	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	浅沼 友恵				
時間割備考	1年次 人間生活学部対象				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
テーマ「平和と人権」。近代憲法と呼ばれるためには、何よりも人権の保障がなければならない。また、日本国憲法が世界に誇れるのは平和主義である。日本国憲法を学ぶ意義は、自由で公正な社会を築くためには人はみなかけがえない大切な存在だという人間社会の根本にあるものを学ぶことであり、国民主権の理念が統治機構にどのように反映されているか知ることである。日本国内の憲法改正論、世界を取り巻く環境の変化に対して真の情報を得て自ら考えることが必要となってくる近年、「平和」の構築をはじめとする社会問題を考える基盤となるような最低限度の知識を身につけることを目的とする。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	日本国憲法の理念をその原点から正しく把握することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力
2	基本的人権や平和主義、国民主権を理解するとともに統治機構とその構造、関係性について理解できる。				知識・技能／思考・判断・表現力
3	憲法の理念を正しく理解したうえで平和や人権を希求することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
4	個人としてあるいは教職に就く人間として憲法を学ぶことは、よりよい社会の実現につながることを理解し、実践できるようになる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	①全体の3分の2以上の出席 並びに授業への取り組み 30%				1／2／3
2	②期末前の総合課題提出（パソコンやスマホによる提出）20%				1／2／3
3	③期末テスト（スマホやパソコン持参による教場試験）50% 、教科書ノート類の持ち込みなし。 ただし、この期末試験で60%に到達しなかった人はレポート提出あり。				1／2／3
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
Ⅰ. 日本国憲法の沿革					
① イントロダクション					
事前学修	日本国憲法と大日本帝国憲法の比較するので、それぞれの法の概要や性質の概要を知る。（事前学習30分）				
事後学修	日本国憲法と大日本帝国憲法の性質の違いについて理解する。（事後学習90分）				
② 日本国憲法誕生の背景					
事前学修	日本国憲法制定の過程やGHQが草案を作った経緯について歴史的背景を理解する。（事前学習30分）				
事後学修	日本国憲法制定の過程を知り、その根幹がどこからきているのか理解する。（事後学習90分）				
Ⅱ. 日本国憲法の三大理念と幸福追求権					
③ 基本的人権・国民主権					
事前学修	基本的人権の種類を知る。主権の意味を知る。（事前学習30分）				
事後学修	基本的人権の種類と性質について理解する。また国民主権とは何か理解する。（事前学習90分）				
④ 人権の始期・憲法の私人間効力					
事前学修	私人間とはどういう関係か。また、憲法の享有主体はだれか知る。（事前学習30分）				
事後学修	私人間同士の紛争に憲法はどのように関与するのか理解する。 人権の享有主体について理解する。国内の外国人の人権について理解する。 （事後学習90分）				
⑤ 幸福追求権・自己決定権					
事前学修	幸福追求権や自己決定権の言葉の意味を知る。（事前学習30分）				
事後学修	幸福追求権の種類や内容を理解し、自己決定権の内容について理解する。（事前学習90分）				

Ⅲ. 自由権		
⑥ 思想・信条の自由・信教の自由・目的効果論・表現の自由		
事前学修	自由権のうち思想信条の自由とはどういうことか知る。（事前学習30分）	
事後学修	思想・信条の自由・信教の自由・表現の自由とはどういう内容か理解する。政教分離原則の判断基準（目的効果基準）を理解する。（事後学習90分）	
⑦ 知る権利・教育の自由・人身の自由		
事前学修	知る権利・教育の自由・人身の自由について、言葉の意味を理解する。（事前学習30分）	
事後学修	知る権利・教育の自由・人身の自由について理解し、今日の問題を理解する。（事後学習90分）	
⑧ 経済的自由権・自由権に対する規制論		
事前学修	経済的自由権とは何か知る。（事前学習30分）	
事後学修	経済的自由権とは何か理解したうえで、自由権制約の二重規制論について理解する。（事後学習90分）	
Ⅳ. 法の下の平等		
⑨ 平等権		
事前学修	平等の種類を知る。（事前学習30分）	
事後学修	法の下の平等がどういうものか理解する。また、日本社会の平等について考える。（事後学習90分）	
Ⅴ. 社会権と憲法における女性の項目		
⑩生存権・憲法における家族		
事前学修	生存権とは何か理解する。 憲法の婚姻に関する条文を理解する。（事前学習30分）	
事後学修	生存権とは何か、またその法解釈論を理解する。 憲法の婚姻に関する条文の意味を知る。（事後学習90分）	
Ⅵ. 平和主義		
⑪ 平和主義（前文・9条の解釈）		
事前学修	憲法における平和主義がどこの条文にあるか、またそれはどのような内容になっているか知る。（事前学習30分）	
事後学修	憲法における平和主義の内容を知り、憲法解釈について理解する。（事後学習90分）	
⑫ 平和主義（自衛隊・PKO）		
事前学修	自衛隊の活動にはどのようなものがあるのか概要を調べる。（事前学習30分）	
事後学修	自衛隊の活動内容やPKO参加基準を知ることによって憲法改正論とどのように関係しているのか理解する。（事後学習90分）	

Ⅶ. 日本の統治機構		
⑬ 三権分立・三審制		
事前学修	三権分立・三審制の制度の概要を理解する。（事前学習30分）	
事後学修	三権分立・三審制の制度を理解する。（事後学習90分）	
⑭ 両議院制・間接民主制		
事前学修	両議院制・間接民主制について理解する。（事前学習30分）	
事後学修	両議院制を理解する。直接民主制や間接民主制の制度理解とそのメリット・デメリットを理解する。（事後学習90分）	
⑮ 国民投票		
事前学修	国民投票制度と憲法改正論の概要を知る。（事前学習30分）	
事後学修	国民投票制度と憲法改正論について制度と内容を理解する。（事後学習90分）	
試験等		
第16回目に定期試験 持ち込みなし（教場にてスマホやパソコンによるオンライン提出）を実施。試験終了後フィードバックを実施。		
試験のフィードバックの方法		
定期試験終了後、解答・解説を講義する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜必携書＞ 『大学生のための憲法〔第2版〕』， 法律文化社，ISBN：784589043344 本体価格：2,500円		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし。		
オフィスアワー		
授業前後に質問を受けつけます。		
連絡先		
Email:s8001@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
課題やレポート提出、期末試験のために、manaba folio/Google classroom/Wordが使えるようにしておきましょう。 期末になると膨大な量になるので、その都度覚えるように復習をしましょう。（各回復習90分程度） また、毎日のニュースに関心を持つこと。高校までの教科書を復習することも有益。		

日本国憲法ⅠⅠ				単位数	2単位
授業コード	12400	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	俵野 英二				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
身近な憲法問題からそれに関する憲法の基本原理及び基礎知識を学ぶ。さらに、その基本原理等に関する現代的な社会問題についてグループで取り組み、各回のテーマごとに全体で討議する。これ等の活動により、身近な問題を憲法やルールを使って問題の全体像の把握、多面的な分析及び体系的論理的な思考による自らの意見の形成の仕方を修得する。また、異なる価値観に基づく意見を尊重する態度及び価値観の多様化した社会における議論の仕方を修得する。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ワーク			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	憲法の基本原理及び基礎知識を理解している。			知識・技能	
2	憲法の基本原理及び基礎知識を活用して実社会の中で主体的かつ論理的に、主権者として考え行動したり、自己または他者の人権や権利を守るために考え行動することができる。			思考・判断・表現力	
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	小テスト：30%			1	
2	グループワーク：30%			2	
3	定期試験：40%			1/2	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
香川県教育委員会および香川県総務部人権・同和政策課における人権教育や相談、教育に関する実務経験から、身近な学生目線の具体的な憲法問題から憲法の基本原理や基礎的な知識を講義することにより、学生に実践的な統治上、人権上の問題解決への取り組みへの理解を促す。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
第1回：憲法とは何か					
事前学修	テキスト第1部第1章を読み、分からない言葉を調べる。Pointの答えを考えておく。（約1時間）				
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約1時間）。				
第2回：国家機関としての天皇制					
事前学修	テキスト第1部第3章を読み、分からない言葉を調べる。Pointの答えを考えておく。（約1時間）				
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約1時間）				
第3回：憲法が目指す平和を守る仕組み―平和主義―（1） 非武装平和主義と安保体制					
事前学修	テキスト第1部第4章第2節および第3節を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの1番目および3番目の答えを考えておく。（約1時間）				
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約1時間）				
第4回：憲法が目指す平和を守る仕組み―平和主義―（2） 台湾有事と有事法制					
事前学修	テキスト第1部第4章第1節を読み、分からない言葉を調べておく。グループワークに備え、Pointの2番目答えを考えておく。（1時間）				
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約1時間）				
第5回：国民主権を実現する仕組み1 政治と国民、国会議員					
事前学修	テキスト第2部第1章を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの答えを考えておく。（約1時間）				
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（1時間）				

第6回：国民主権を実現する仕組み2 選挙、選挙制度、政党		
事前学修	テキスト第2部第2章を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの答えを考えておく。（約1時間）	
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約1時間）	
第7回：人権を守るための組織―統治機構1― 国会、内閣		
事前学修	テキスト第2部第3章および第4章を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの答えを考えておく。（約1時間）	
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約1時間）	
第8回：人権を守るための組織―統治機構2― 地方自治、裁判所		
事前学修	テキスト第2部第3章および第4章を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの答えを考えておく。（約1時間）	
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約1時間）	
第9回：良心をもつ自由、貫く権利		
事前学修	テキスト第3部第3章を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの答えを考えておく。（約1時間）	
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約1時間）	
第10回：表現の自由と書かれない権利		
事前学修	テキスト第3部第4章を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの答えを考えておく。（約1時間）	
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約1時間）	
第11回：知る権利とマスメディアの自由		
事前学修	テキスト第3部第5章を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの答えを考えておく。（約1時間）	
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約1時間）	
第12回：営業の自由と消費者の権利		
事前学修	テキスト第3部第6章を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの答えを考えておく。（約1時間）	
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約1時間）	

第 1 3 回：働く人の権利		
事前学修	テキスト第 3 部第 7 章を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの答えを考えておく。（約 1 時間）	
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約 1 時間）	
第 1 4 回：学校における生徒の人権		
事前学修	テキスト第 3 部第 1 2 章を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの答えを考えておく。（約 1 時間）	
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約 1 時間）	
第 1 5 回：困らないための権利、差別されている人たちへの配慮		
事前学修	テキスト第 3 部第 8 章を読み、分からない言葉を調べておく。Pointの答えを考えておく。（約 1 時間）	
事後学修	小テストを受験する。小テストを参考に復習する。グループワークの解説を読んで理解を深める。（約 1 時間）	
試験等		
16週目に筆記試験を行う。		
試験のフィードバックの方法		
小テスト（各章）の各実施後に、正解をManabu Folioに掲示する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜必携書＞		
『憲法のちから第 2 版』、中富公一編著、法律文化社、2024年		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
＜参考書等＞		
『新・判例ハンドブック【憲法】第3版』、高橋和之編、有斐閣、2024年		
『グラフィック憲法入門 第3版』、毛利透、新世社、2024年		
授業の中で、法律情報（法令、裁判例、学術論文など）の調査方法を説明する。		
オフィスアワー		
質問は、授業後に直接、または随時メールで受け付ける。		
連絡先		
pi9i3ulh@s.okayama-u.ac.jp （◎を@に変換して送信してください）		
留意事項		

法律学Ⅰ				単位数	2単位
授業コード	12410	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第 1 期
担当者氏名	山本 賢昌				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
法律学Ⅰでは、日本国憲法、行政法、民法の財産法を学ぶ。なかでも日常生活と深いかわりのある民法の財産法を中心に学ぶ。憲法については、日本国憲法の基本原理や日本の統治機構、基本的人権の保障の在り方を理解する。行政法については、行政法とはなにか、法律による行政とは何か、行政救済法の概略について理解する。民法については、民法第1編総則、第2編物権、第3編債権について、その内容を理解し、財産法上の重要な論点を考察する。さらに、具体的事例を検討することにより、社会生活における民法（財産法）の作用や役割について学び、今後の社会生活に資することを目的とする。					
アクティブラーニングの実施内容		発見学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	日本国憲法の基本原理を理解し、憲法で定められた統治機構の在り方や基本的人権の保障の在り方を理解し、ひとりの主権者として、主体的に日本の政治に関わり、社会的活動を行うことができるようになる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	行政と市民の関係を理解し、行政によって市民の権利が侵害された場合の救済方法を知ることにより、そのような立場に置かれた場合に的確な行動ができるようになる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	民法の財産法の各条文の立法趣旨や内容を理解し、社会生活の具体的場面において、民法がどのように適用されるのかを的確に判断できるようになり、日常生活において自己の財産上の権利利益を守れるようになる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	受講態度 30%			1／2／3	
2	期末試験 70%			1／2／3	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
弁護士としての実務経験を活かし、憲法・行政法・民法に関する具体的事件の事例を授業内容に織り込むことによって、それぞれの法が具体的な場面でどのように事件の解決のために適用されるのかを学生に理解してもらう。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 日本国憲法、基本原理の理解					
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。				2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読み、小問題を解き解説を読む。				2時間
2 行政法、概要、法律による行政の原理、行政救済法					
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。				2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。				2時間
3 民法、第1編総則、通則、人、法人					
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。				2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。				2時間
4 民法、第1編総則、物、法律行為（意思表示）					
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。				2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。				2時間
5 民法、第1編総則、法律行為（代理、条件、期間、時効）					
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。				2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。				2時間
6 民法、第2編物権、占有権、所有権					

事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。	2時間
7 民法，第2編物権，地上権，永小作権，地役権		
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。	2時間
8 民法，第2編物権，留置権，先取特権，質権，抵当権		
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。	2時間
9 民法，第3編債権，総則		
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。	2時間
10 民法，第3編債権，契約（総則）		
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。	2時間
11 民法，第3編債権，契約（贈与，売買，交換）		
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。	2時間
12 民法，第3編債権，契約（消費貸借，使用貸借，賃貸借）		

事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。	2時間
1 3 民法，第3編債権，契約（雇用，請負，委任，寄託，組合，終身定期金，和解）		
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。	2時間
1 4 民法，第3編債権，事務管理，不当利得，不法行為		
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。	2時間
1 5 定期試験 1 6 定期試験講評		
事前学修	15 16 予習として、期末テストの問題について、関連する法律の条文や講義での配布資料をもとに検討しておく。	2時間
事後学修	15 16 復習として、期末テストの問題について、もう一度、自分なりに解答を作成してみて、法律知識や法律的なものの考え方の準備をしておく。	2時間
試験等		
試験のフィードバックの方法		
定期試験の後にその講評を行う		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
『デイリー六法令和7年度版』三省堂 ISBN978-4-385-15881-5		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし		
オフィスアワー		
質問は授業の後で受け付ける。		
連絡先		
aek06103@nifty.com		
留意事項		

法律学II				単位数	2単位
授業コード	12411	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	山本 賢昌				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
民法の家族法，刑法を学ぶ。民法のうち，第4編親族，第5編相続について，その内容を解説し，家族法上の重要な論点を個別的に考察する。さらに，具体的事例を検討することにより，社会生活における民法（家族法）の作用や役割について理解し，今後の夫婦・親子・家族・親族の在り方を考察する。刑法については，刑法の基本原理やしきみ，どのような行為が罪として定められ，どのような刑罰を科されるのかについて学ぶ。					
アクティブラーニングの実施内容		発見学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	民法の家族法の各条文の立法趣旨や内容を理解し，社会生活や家庭生活の具体的場面において，民法がどのように適用されるのかを的確に判断できるようになり，日常生活において自己の家族法上の権利利益を守れるようになる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	刑法の基本原理を理解し，どのような行為がどのような罪に該当し，どのような刑罰を受けるのかを理解する。日常生活において，自らの行為が刑事罰の対象となるようなものであるかどうか判断できるようになる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	受講態度 30%			1／2	
2	期末試験 70%			1／2	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
弁護士としての実務経験を活かし，民法・刑法に関する具体的事件の事例を授業内容に織り込むことによって，それぞれの法が具体的な場面でどのように事件の解決のために適用されるのかを学生に理解してもらう。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 民法，第3編親族，総則，婚姻（要件）					
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。				2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。				2時間
2 民法，第3編親族，婚姻（要件）					
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。				2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。				2時間
3 民法，第3編親族，婚姻（婚約，内縁）					
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。				2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。				2時間
4 民法，第3編親族，婚姻（効力）					
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。				2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。				2時間
5 民法，第3編親族，婚姻（離婚1）					
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。				2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。				2時間

6 民法，第3編親族，婚姻（離婚2）		
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。	2時間
7 民法，第3編親族，親子（実子）		
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。	2時間
8 民法，第3編親族，親子（養子）		
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。	2時間
9 民法，第3編親族，親権，後見，保佐及び補助，扶養		
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。	2時間
10 民法，第4編相続，総則，相続人		
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。	2時間
11 民法，第4編相続，効力，承認及び放棄，相続人の不存在		
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。	2時間
12 民法，第4編相続，遺言，配偶者の居住の権利，遺留分，特別の寄与		
事前学修	予習として，次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として，講義で配布する資料を読む，小問題を解く解説を読む。	2時間

1 3 刑法、刑法の基本原則、第1編総則		
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。	2時間
1 4 刑法、第2編罪		
事前学修	予習として、次の講義の予定部分の法律の条文にざっと目を通しておく。	2時間
事後学修	復習として、講義で配布する資料を読む、小問題を解く解説を読む。	2時間
1 5 定期試験 1 6 定期試験講評		
事前学修	15 16 予習として、期末テストの問題について、関連する法律の条文や講義での配布資料をもとに検討しておく。	2時間
事後学修	15 16 復習として、期末テストの問題について、もう一度、自分なりに解答を作成してみて、法律知識や法律的なものの考え方の準備をしておく。	2時間
試験等		
試験のフィードバックの方法		
定期試験の後にその講評を行う。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
『デイリー六法令と6年度版』三省堂		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
『デイリー六法令と7年度版』三省堂 I S B N 9 7 8 - 4 - 3 8 5 - 1 5 8 8 1 - 5		
オフィスアワー		
質問は授業の後に受け付ける		
連絡先		
aek06103@nifty.com		
留意事項		

社会学		[単位数]		2単位	
授業コード	12420	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	中山 ちなみ				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
本講義では、私たちの身近で起こっている具体的な現象や社会問題を事例として取り上げ、それらを社会学の知見と結びつけて考えることにより、社会学の基礎的な理論や知識を修得することをめざす。社会学的なものの見方、考え方を学ぶことで、今まで自分では気づいていなかったこと、「あたりまえ」と思っていたことが、別の見え方をしてくるという社会学のおもしろさ・難しさを、少しでも感じ取ってもらいたい。					
アクティブラーニングの実施内容		発見学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	社会学とはどのような学問であるか、また、自身にとっての社会学を学ぶ意義について、自分の言葉で述べるができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	社会学が扱う多様な対象・領域に関心を持つことができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	社会事象を分析・説明・解釈する力を身につけ、向上させる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	自分を取り巻くさまざまな「社会」で生じている問題を発見することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5	自分自身が「社会」とつながっている社会的存在であることを理解し、それを自分の言葉で説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	期末筆記試験：65%			1／2／3／4／5	
2	レポート課題：20%			2／3／4	
3	毎回の授業後のリアクションペーパー：15%			1／2／3／4／5	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1. イントロダクション					
事前学修	シラバス全体をよく読み、全15回の授業内容を確認しておく。 これまでに自分が、さまざまな「社会」とどのように関わってきたのかを振り返ってみる。			60分	
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。			60分	
2. 社会的存在としての人間					
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。			60分	
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。			60分	
3. アイデンティティ					
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。			60分	
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。			60分	
4. ジェンダー					
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。			60分	
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。			60分	
5. 社会の現状と動向を把握する ――データの読み方――					
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。			60分	
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。 データの読み方、引用のルールなどを、他の授業のレポート課題や卒業論文等でも活かせるよう、確実に身につけておく。 日本の戦後の人口動態や時代の流れを、大まかに把握しておく。			60分	

6. ライフコースと家族（1）		
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。	60分
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。 家族やライフコースに関する調査データを読み取り、その概略が述べられるようにしておく。	60分
7. ライフコースと家族（2）		
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。	60分
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。 家族やライフコースに関する調査データを読み取り、その概略が述べられるようにしておく。	60分
8. 社会の多様な局面をとらえる —— 映画を題材に ——		
事前学修	プリントで映画に関する情報を確認しておく。	30分
事後学修	これまでの学修内容（ジェンダー、家族など）を振り返るとともに、今後の学修内容（都市、階層、差別問題など）にもつなげていけるよう、映画の中で表現される個人・社会の問題を的確に把握する。 映画鑑賞後のレポート課題に取り組む。	90分
9. 都市の生活と人間関係（1）		
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。	60分
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。 都市や地域に関する調査データを読み取り、その概略が述べられるようにしておく。	60分
10. 都市の生活と人間関係（2）		
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。	60分
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。	60分
11. 社会規範		
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。	60分
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。	60分

12. 同調行動と逸脱行動		
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。	60分
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。	60分
13. 社会階層と平等		
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。	60分
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。 レポート課題に取り組む。	60分
14. 権力		
事前学修	シラバスの授業予定内容を確認し、関連する語句について概説書やインターネットで検索するなどして調べておく。	60分
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。	60分
15. まとめ		
事前学修	シラバス全体を再度読み直し、これまでに学修した内容を振り返る。	60分
事後学修	ノートやプリントを読み直して知識を確実なものとするとともに、学修内容を自分自身の経験と結びつけて考えてみる。 本授業を受講する前と、受講を終えた後で、社会の見え方や自分と社会との関わり方にどのような変化があったかを考えてみる。 全15回の学修内容から社会学の対象や方法の幅広さを振り返り、知識が不確実な部分をよく復習する。	60分
試験等		
期末筆記試験		
試験のフィードバックの方法		
試験終了時に、解答の一部を口頭で伝える。また、試験後の問い合わせに対応する。 レポート課題については、授業中に全体の講評をし、個別の問い合わせにも対応する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<参考書等> 講義時間中に随時紹介する。		
オフィスアワー		
オフィスアワーは設けない。 研究室で質問や相談等をしたい場合は、事前にメールで予約をしてください。		
連絡先		
研究室電話番号：086-252-7102 メールでの問い合わせは、c.nakayama@m.ndsu.ac.jp宛に送ってください。		
留意事項		
テキストは使用しない。ほぼ毎回の授業でプリントを配付する。 授業で紹介した事象や概念をただ覚えるだけの受け身的な態度ではなく、社会的な見方をすることによって、自分の身の周りで起こっている社会事象や問題がどのように分析・説明できるのかということを考えながら、能動的・積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。 質問等は授業終了後に対応する。授業中でも遠慮せずに尋ねてもらってかまわない。		

心理学II（臨床心理学概論）			単位数	2単位	
授業コード	12511	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	中内 みさ				
時間割備考	2018年度以降入学生対象				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	1 講義				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
臨床心理学はholisticallyに人間をみる心理学です。また、人と人が出会い、かかわり、理解を深めていくことを通して、ともに成長していく心理学です。この授業では臨床心理学の基礎を概説します。臨床心理学の理論や家族関係の病理、臨床心理学的観点から見た発達の問題などを広く取り上げます。					
アクティブラーニングの実施内容		体験学習			
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）		
1	臨床心理学・カウンセリング理論の基礎を理解し、説明できる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
2	臨床心理学の観点から、社会の様々な問題に関して自分の考えを述べることができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性		
3					
4					
5					
成績評価の基準			対応する到達目標の番号		
1	各回のコメント 20%		1／2		
2	小レポート 20%		1／2		
3	期末レポート 60%		1／2		
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
カウンセラーあるいはセラピストとしての経験を活かし、心理学・心理療法についての実際的理解を深めます。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1. オリエンテーションー臨床心理学って何？					
事前学修	臨床心理学のイメージや聞いてみたいことなどをまとめておくこと。			2時間程度	
事後学修	臨床心理学のイメージがどう変わったか、コメントなどを書いておくこと。			2時間程度	
2. 臨床心理学の方法論					
事前学修	臨床心理学は科学だと思うか、なぜそう思うのかをまとめておくこと。			2時間程度	
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。			2時間程度	
3. それはパブロフから始まった					
事前学修	条件反射に関して知っていることをまとめておくこと。			2時間程度	
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。			2時間程度	
4. リアルワールドの中の症状ー行動療法など					
事前学修	前回の授業内容を整理しまとめておくこと。			2時間程度	
事後学修	授業で取り上げた療法の中から関心のあるものをまとめること。			2時間程度	
5. 私の知らない私ーフロイトと精神分析					
事前学修	自我防衛機制に関して知っていることをまとめておくこと。			2時間程度	
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。			2時間程度	

6. もう一人の私-ユングの「影」		
事前学修	指示された文献を読み概要をまとめておくこと。	2時間程度
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。	2時間程度
7. ありのままの私-ロジャーズのカウンセリング理論		
事前学修	カウンセリングのイメージをまとめておくこと。	2時間程度
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。	2時間程度
8. なぜメイにはトトロが見えたのか-幼児期・児童期の臨床心理		
事前学修	指示された文献を読み／映画を視聴し、感想をまとめておくこと。	2時間程度
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。	2時間程度
9. 限界を抱えて飛ぶ-思春期・青年期の臨床心理		
事前学修	指示された文献を読み／映画を視聴し、感想をまとめておくこと。	2時間程度
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。	2時間程度
10. 知恵と意地と-壮年期・老年期の臨床心理		
事前学修	指示された文献を読み／映画を視聴し、感想をまとめておくこと。	2時間程度
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。	2時間程度
11. 禁じられた遊び-対象喪失の話		
事前学修	指示された文献を読み／映画を視聴し、感想をまとめておくこと。	2時間程度
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。	2時間程度
12. 管理ザルの悲劇-ストレスと心身症の話		
事前学修	ストレスに関して知っていることをまとめておくこと。	2時間程度
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。	2時間程度
13. からだの声を聴く		
事前学修	指示された課題に関して取り組むこと。	2時間程度
事後学修	本日の体験に関するコメントなどをまとめること。	2時間程度

14. 母と子の臨床		
事前学修	親子関係で気になるニュースなどがあればまとめておくこと。	2時間程度
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。	2時間程度
15. 女性の生き方を考える-おとぎ話の女性たち		
事前学修	指示された文献を読み、感想をまとめておくこと。	2時間程度
事後学修	新たに得た知見とそれに対するコメントなどをまとめること。	2時間程度
試験等		
期末レポート		
試験のフィードバックの方法		
manabaでフィードバックをします。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<必携書> なし		
<参考書等> 毎回の講義で紹介します。		
オフィスアワー		
最初の授業時に伝えます。		
連絡先		
中内 みさ mnakauchi@post.ndsu.ac.jp		
留意事項		
授業についての連絡・フィードバックを双方向的に行うため、manaba folioを使用します。受講者は必ず、manaba folio掲示板のリマインダ機能をオンにして、内容を見ておくようにしてください。		

心理学III（健康・医療心理学）					単位数	2単位
授業コード	12521	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期	
担当者氏名	多田 志麻子					
時間割備考	2018年度以降入学生対象					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
健康の維持増進、病気の予防のための心理学の基礎および実践の知識を理解する。 授業では、健康に関する心の仕組みや働きを学ぶ。また、心理テスト等を実施し、自ら体験しながら、自己を知り、自らの健康をよりよくコントロールできるようにする。さらに、心の健康教育としてストレスマネジメントについて理論やスキルを習得する。						
アクティブラーニングの実施内容		体験学習				
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	健康に関する心理学の基礎的知識を説明できる。				知識・技能	
2	自己を振り返り、自らの健康をよりよくコントロールできる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	心の健康教育に関する実践方法を説明できる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4						
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	定期試験：55%				1／2／3	
2	小テスト：20%				1／3	
3	授業への取り組み：25%				2／3	
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目		実務あり				
実務経験の授業への活用方法						
臨床心理士、公認心理師として教育相談で実践した心理臨床経験を心の健康に関する理論や技法に活用する						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間				
1 発達と健康に関する特徴 ①新生児期・乳幼児期						
事前学修	新生児期・乳幼児期の発達と健康に関する特徴について関連書籍を読み、疑問点をまとめること				2 時間	
事後学修	新生児期・乳幼児期の発達と健康に関する特徴について学習内容を振り返ってまとめること 新生児期・乳幼児期の発達と健康に関する特徴について配布資料や関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめること				2 時間	
2 発達と健康に関する特徴 ②児童期・青年期						
事前学修	児童期・青年期の発達と健康に関する特徴について関連書籍を読み、疑問点をまとめること				2 時間	
事後学修	児童期・青年期の発達と健康に関する特徴について学習内容を振り返ってまとめること 児童期・青年期の発達と健康に関する特徴について配布資料や関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめること				2 時間	
3 発達と健康に関する特徴 ③成人期・老年期						
事前学修	成人期・老年期の発達と健康に関する特徴について関連書籍を読み、疑問点をまとめること				2 時間	
事後学修	成人期・老年期の発達と健康に関する特徴について学習内容を振り返ってまとめること 成人期・老年期の発達と健康に関する特徴について配布資料や関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめること				2 時間	
4 健康行動の基礎						
事前学修	健康行動の定義や行動の動機づけについて関連書籍を読み、疑問点をまとめること				2 時間	
事後学修	健康行動の定義や行動の動機づけについて学習内容を振り返ってまとめること 健康行動の定義や行動の動機づけについて配布資料や関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめること				2 時間	
5 フラストレーション						
事前学修	フラストレーションについて関連書籍を読み、疑問点をまとめること				2 時間	
事後学修	フラストレーションについて学習内容を振り返ってまとめること フラストレーションについて配布資料や関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめること				2 時間	

6 ストレスと健康		
事前学修	ストレスと健康について関連書籍を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	ストレスと健康について学習内容を振り返ってまとめること ストレスと健康について配布資料や関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめること	2 時間
7 パーソナリティと健康		
事前学修	パーソナリティと健康について関連書籍を読み、疑問点をまとめること 1 回目～6 回目までの学習内容を確認し、小テストに臨むこと	2 時間
事後学修	パーソナリティと健康について学習内容を振り返ってまとめること パーソナリティと健康について配布資料や関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめること	2 時間
8 自己理解		
事前学修	自己を理解するための心理学的方法について関連書籍を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	自己理解について学習内容や実践方法を振り返ってまとめること 自己理解について配布資料や関連書籍を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめること	2 時間
9 他者理解		
事前学修	他者理解のためのコミュニケーションについて関連書籍を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	他者理解について学習内容を振り返ってまとめること 他者理解について配布資料や関連書籍を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめること	2 時間
10 発達障害と支援		
事前学修	発達障害と支援について関連書籍を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	発達障害と支援について学習内容を振り返ってまとめること 発達障害と支援について配布資料や関連書籍を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめること	2 時間
11 災害時の心理支援		
事前学修	災害時の心理支援について関連書籍を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	災害時の心理支援について学習内容を振り返ってまとめること 災害時の心理支援について配布資料や関連書籍を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめること	2 時間

12 心の健康教育		
事前学修	心の健康教育について関連書籍を読み、疑問点をまとめておくこと 7回目～11回目までの学習内容を確認し、小テストに臨むこと	2時間
事後学修	心の健康教育について学習内容を振り返ってまとめておくこと 心の健康教育について配布資料や関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめておくこと	2時間
13 ストレスマネジメント ①アサーション		
事前学修	アサーションについて関連書籍を読み、疑問点をまとめておくこと	2時間
事後学修	アサーションについて学習内容や実践方法を振り返ってまとめておくこと アサーションについて配布資料や関連書籍を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめておくこと	2時間
14 ストレスマネジメント ②認知行動療法		
事前学修	認知行動療法について関連書籍を読み、疑問点をまとめておくこと	2時間
事後学修	認知行動療法について学習内容や実践方法を振り返ってまとめておくこと 認知行動療法について関連書籍を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめておくこと	2時間
15 ストレスマネジメント ③リラクセーション・全体のまとめ		
事前学修	リラクセーションについて関連書籍を読み、疑問点をまとめておくこと	2時間
事後学修	リラクセーションについて学習内容や実践方法を振り返ってまとめておくこと リラクセーションについて関連書籍を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめておくこと 1回目～15回目までの学習内容を確認し、定期テストに臨むこと	2時間
試験等		
16週目に筆記試験を行う。		
試験のフィードバックの方法		
試験終了後に模範解答を掲示する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
<参考書等> 毎回の授業で資料を配布する。 参考書は授業中に提示する。		
オフィスアワー		
質問は授業終了後またはメールで受け付ける。		
連絡先		
s9031@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		

心理学Ⅳ（司法・犯罪心理学）				単位数	2単位
授業コード	12525	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	日下 紀子、浅田 慎太郎、海野 順				
時間割備考	8/19, 8/21, 8/26, 9/9				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	複数				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
司法・犯罪に関する心理学について学びます。 前半の授業内容は、臨床心理士・公認心理師として、元受刑者の立ち直りを支援している経験も踏まえて、司法・犯罪領域における心理学の理論や心理臨床実践について、講義します。（浅田） 後半の授業内容は、多くの犯罪が依存・嗜癖関連障害と密接に関係していることを紹介し、依存症医療の立場から専門的な支援の実際について、講義します。（海野）					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識を獲得し、説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
2	司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援についての基本的知識を獲得し、説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	担当者ごとに、担当回数に応じた配点で評価する（得点比率は浅田：海野＝2：1）。 評価は、授業中の課題や小テスト、レポート等で行う。具体的な評価方法や持ち点内での配分については、各担当者から授業中に指示する。 犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識の理解の度合いをテストにて測る。			1／2	
2	司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援についての基本的知識の理解の度合いをテストにて測る。			1／2	
3	司法・犯罪分野における問題に関して必要な支援について、心理学的な観点から説明できているかを評価する。			1／2	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
担当教員は、公認心理師、臨床心理士、または精神科医の資格を有し、司法・犯罪心理学領域に関連する心理支援や心理業務、医療業務に従事した経験に基づき、講義を行う。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
第1回 犯罪とはなにか（浅田）					
事前学修	普段から報道される事件やニュースにも関心を持ち、犯罪心理学にかかわるテキストを自習しましょう。				1時間
事後学修	犯罪という現象についてこれまで抱いていたイメージと、学問的テーマとしての犯罪とのあいだにあるギャップについて、言葉にしてみましょう。				1時間
第2回 犯罪統計をみる（浅田）					
事前学修	犯罪について示した統計について、法務省のウェブサイトなどを閲覧してみましょう。				1時間
事後学修	犯罪統計が示す犯罪の実態と、社会に広がる犯罪のイメージとをすりあわせて、振り返りましょう。				1時間
第3回 非行・犯罪に対応する社会的枠組み、とくに出所後の元受刑者（浅田）					
事前学修	なぜ犯罪者を支援しなければならないのか、自分なりに考えてみましょう。それに対する反証や反感についても、なぜそれが生じるのかを考えましょう。				1時間
事後学修	講義を受けて、さらに犯罪者の支援についての自分自身の心証や葛藤について、考えましょう。				1時間
第4回 社会構造としての非行・犯罪（浅田）					
事前学修	犯罪がどうして発生するのか、社会の側にある要因について、いくつかの考えを挙げてみましょう。				1時間
事後学修	講義を受けて、社会の側にある問題を和らげる方法や政策はないか、考えてみましょう。				1時間
第5回 社会過程としての非行・犯罪（浅田）					
事前学修	犯罪がどうして発生するのか、社会の側にある要因について、いくつかの考えを挙げてみましょう。				1時間
事後学修	講義を受けて、社会の側にある問題を和らげる方法や政策はないか、考えてみましょう。				1時間

第6回 非行・犯罪のリスク・アセスメント（浅田）		
事前学修	犯罪が生じるリスクを高めるもの、またそれがどうしてリスクを高めると考えられるのかについて、自分なりにいくつか挙げてみましょう。	1時間
事後学修	犯罪のリスクを下げるためにどのような支援が必要なのか、考えてみましょう。	1時間
第7回 非行・犯罪とアタッチメント（浅田）		
事前学修	犯罪者の過去の経験には、どのような要素があると想像しますか。考えてみましょう。	1時間
事後学修	犯罪者が不安や恐怖を感じることで、それらの経験に向けた支援の必要性について、振り返りましょう。	1時間
第8回 司法心理療法概論（浅田）		
事前学修	犯罪者の心のより深い世界に向けた治療的アプローチについて、どのようなものになのか、想像してみましょう。	1時間
事後学修	犯罪者への心理療法における観点、困難さ、重要性について、自分なりに理解を深めるために講義の内容を復習しましょう	1時間
第9回 被害と被害者（浅田）		
事前学修	自分自身が被害者かどのような存在として見ているのか、自分の感覚や考えを書き出してみましょう。	1時間
事後学修	被害という現象、被害者になるという経験が与える影響について、講義の内容を復習しましょう。	1時間
第10回 まとめ：非行・犯罪の問題に取り組む（浅田）		
事前学修	これまでの授業の内容を復習し、テストに備えましょう。	1時間
事後学修	テストの結果から、足りない知識について再学習しましょう。	1時間
第11回 精神鑑定と責任能力（海野）		
事前学修	ネット検索で良いので、精神鑑定が行われた重大事件に関するニュースを振り返っておいてください。	2時間
事後学修	重大事件について、司法・医療・一般の3立場からの考え方について整理してみましょう。	2時間
第12回 依存・嗜癖問題の理解（海野）		
事前学修	ネット検索で良いので、嗜癖問題が関わる事件に関するニュースや、それに対する一般市民の反応を見ておいてください。	2時間
事後学修	講義での学びの後には、再犯防止のために必要なことについて、自身の意見をまとめてください。	2時間

第13回 依存・嗜癖問題の支援（海野）		
事前学修	ネット検索で良いので、嗜癖問題が関わる事件に関するニュースや、それに対する一般市民の反応を見ておいてください。	2時間
事後学修	講義での学びの後には、再犯防止のために必要なことについて、自身の意見をまとめてください。	2時間
第14回 司法犯罪分野における心理学的援助（海野）		
事前学修	ネット検索で良いので、嗜癖問題が関わる事件に関するニュースや、それに対する一般市民の反応を見ておいてください。	2時間
事後学修	講義での学びの後には、再犯防止のために必要なことについて、自身の意見をまとめてください。	2時間
第15回 まとめ：司法矯正と医療福祉の連携に向けた動き（海野）		
事前学修	ネット検索で良いので、嗜癖問題が関わる事件に関するニュースや、それに対する一般市民の反応を見ておいてください。	2時間
事後学修	講義での学びの後には、再犯防止のために必要なことについて、自身の意見をまとめてください。	2時間
試験等		
担当者ごとに、担当回数に応じた配点で評価する（浅田：海野 2：1）。 評価は、授業中の課題や小テスト、レポート等で行う。具体的な評価方法や持ち点内での配分については、各担当者から授業中に指示する。		
試験のフィードバックの方法		
授業中の課題とテストは、解答の解説を行う。レポートは、総評をmanabaにてフィードバックする。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
購入が必要な教科書はありません。必要な資料は担当教員が準備し、ポータル上にアップしようと思います。 【参考書】 犯罪統計について：『犯罪白書』『警察白書』 犯罪心理学について：『犯罪心理学事典』『犯罪行動の心理学〔原著第6版〕』『犯罪心理学-行動科学のアプローチ』 司法臨床について：『司法心理療法-犯罪と非行への心理学的アプローチ』『児童虐待・解離・犯罪：暴力犯罪への精神分析的アプローチ』、よくある「犯罪心理学入門」的な本でも、なんでもかまいません。興味があれば読んでみてください。 依存・嗜癖問題について：『本当の依存症の話をしよう-ラットパークと薬物戦争』、『動機づけ面接法 逆引きMI学習帳』、さらに依存症分野に関心がある人には『人はなぜ依存症になるのか 自己治療としてのアディクション』、『愛着障害としてのアディクション』をお薦めします。		
オフィスアワー		
授業終了後に教室で質問を受け付ける。		
連絡先		
学内担当者（日下）noriko.kusaka@m.ndsu.ac.jp 各回授業担当者（浅田・海野）には、授業開始前あるいは終了後に、必要に応じてお尋ねください。		
留意事項		

情報学I					単位数	2単位
授業コード	12530	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第 1 期	
担当者氏名	前川 浩基					
時間割備考	2021年度以降入学生対象。2020年度入学生は情報科目。9/2-4, 9/16-17					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
本講義では、私たちが社会で求められるデータリテラシーとAIの基礎の理解を目指す。社会におけるAI利活用の事例を通じて、最新動向や実務での活用イメージを深める。またExcelを用いてデータの可視化や基本統計量の算出、データ間の関係性を分析する手法を学ぶ。データ倫理やセキュリティについても学び、責任あるデータ・AI活用の重要性を理解することで、学術やビジネスに応用可能な基礎力を養う。 講義は全体で15回からなり、うち13回の講義はそれぞれ【座学】部分と【演習】部分からなる。残る2回では、ゲストスピーカーによって応用分野・個別トピック（統計、アルゴリズム、時系列データ解析、自然言語処理、画像認識、生成AIなど）を扱う。 なお本講義の内容は、文部科学省が進める「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」のモデルカリキュラムに準拠しており、「NDSUデータサイエンス・AIリテラシープログラム」の構成科目である。						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	日常生活や社会/組織においてデータ・AIを活用する価値を理解し、新しいビジネス/サービスにおけるデータ・AIの活用方法を説明できる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	適切な可視化手法の選択、比較対象の設定などにより、データの特徴を読み解き、その背景や意味合いを説明できる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	データ・AIに関する法制度や国際的な動きのほか、データ・AIを取り巻くリスクや脅威についても理解し、データを適切に利活用することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	データ・AI活用の背景となる知識（数学や統計学）や、その応用分野（自然言語処理や画像認識など）について理解する。				知識・技能／思考・判断・表現力	
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	授業中の小テストおよび小レポート（70%）				1／2／3／4	
2	最終レポート（30%）				1／2／3／4	
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目		実務あり				
実務経験の授業への活用方法						
担当教員がこれまでに従事・研究してきたデータ分析プロジェクト、AI活用プロジェクト等の内容を授業中に紹介し、学生の身近な問題にも関係すること、あるいは学生の将来の職業にも関係することを理解してもらう。						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間				
第1回						
【座学】社会で起きている変化(1) IoTとビッグデータ 【演習】Excelの基本的な操作方法(1) Excelの基本的な操作						
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 1. 社会におけるデータ・AI活用 1-1 社会で起きている変化 1-1-1 IoTとビッグデータ 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2. データリテラシー 2-1 Excelの基本的な操作方法 2-1-1 作業用フォルダーの作成 2-1-2 Excelファイルの作成と拡張子の表示 2-1-3 表の作成 2-1-4 グラフの作成1 2-1-5 グラフの作成2					2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。					2時間

第2回 【座学】社会で起きている変化(2) 第4次産業革命とデータ駆動型社会 【演習】Excelの基本的な操作方法(2) Excel関数の基本		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 1-1-2 第4次産業革命とSociety5.0 1-1-3 Society5.0が目指す社会 1-1-4 データ駆動型社会 【演習】あらかじめ配布する資料（Excelの関数について）を読み、実際にPCを操作して確認しておく。	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第3回 【座学】社会で活用されているデータ(1) さまざまな種類のデータ 【演習】時系列データの可視化(1) Excelによるグラフ描画		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 1-2 社会で活用されているデータ 1-2-1 様々な種類のデータ 1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-2 時系列データの可視化 2-2-1 データのダウンロード 2-2-2 作業用フォルダーの作成とファイルの準備 2-2-3 グラフの作成	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第4回 【座学】社会で活用されているデータ(2) 構造化データと非構造化データ 【演習】時系列データの可視化(2) 時系列データの扱い方		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 1-2-3 構造化データと非構造化データ 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-2-4 グラフの編集1 2-2-5 シート名の変更とシートの追加 2-2-6 複数データのグラフの作成 2-2-7 グラフの編集2	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第5回 【座学】データ・AIの活用領域(1) データ・AI活用領域の拡がり 【演習】平均の算出とその可視化		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 1-3 データ・AIの活用領域 1-3-1 データ・AI活用領域の拡がり 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-3 平均の算出とその可視化 2-3-1 作業用フォルダーの作成とファイルの準備 2-3-2 セルの初期設定 2-3-3 平均の算出 2-3-4 平均の可視化 2-3-5 平均を可視化したグラフの比較	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間

第6回 【座学】データ・AIの活用領域(2) さまざまな活用目的 【演習】標準偏差の算出とその可視化		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 1-3-2 様々な活用目的 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-4 標準偏差の算出とその可視化 2-4-1 作業用フォルダーの作成とファイルの準備 2-4-2 平均グラフの作成 2-4-3 シートのコピー 2-4-4 標準偏差の算出 2-4-5 標準偏差の可視化 2-4-6 シートの追加とデータの追加 2-4-7 グラフの比較	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第7回 ゲストスピーカーによる講演(1) 応用分野・個別トピック（統計、アルゴリズム、時系列データ解析、自然言語処理、画像認識、生成AIなど）		
事前学修	あらかじめ指示する資料を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 その分野について、自身でも記事や資料を探し、背景や動向について理解しておくことが望ましい。	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、自身で調べる、あるいは教員に質問する。	2時間
第8回 【座学】データ・AI利活用のための技術(1) データ解析の種類と目的 【演習】大量のデータを扱う方法(1) データのクリーニング		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 1-4 データ・AI利活用のための技術 1-4-1 データ解析の種類 1-4-2 構造化データの可視化 1-4-3 非構造化データの扱い方 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-5 大量のデータを扱う方法 2-5-1 データのダウンロード 2-5-2 作業用フォルダーの作成とファイルの準備 2-5-3 データクリーニング	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第9回 【座学】データ・AI利活用のための技術(2) AI（人工知能）の技術 【演習】大量のデータを扱う方法(2) データの要約とグラフ化		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 1-4-4 AI（人工知能） 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-5-4 平均と標準偏差、平均±標準偏差の算出 2-5-5 グラフの作成	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第10回 【座学】データ・AI利活用の現場(1) データサイエンスサイクル 【演習】基本統計量の算出と箱ひげ図(1) 基本統計量の算出		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 1-5 データ・AI利活用の現場 1-5-1 データサイエンスサイクル 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図 2-6-1 作業用フォルダーの作成とファイルの準備 2-6-2 データクリーニング 2-6-3 オートフィルター 2-6-4 基本統計量	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間

第11回 【座学】データ・AI利活用の現場(2) データ・AI利活用例 【演習】基本統計量の算出と箱ひげ図(2) 基本統計量の可視化		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 1-5-2 データ・AI利活用例紹介 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-6-5 箱ひげ図	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第12回 【座学】データ・AI利活用の最新動向 【演習】度数分布表とヒストグラムの作成		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 1-6 データ・AI利活用の最新動向 1-6-1 データ・AIを活用した最新のビジネスモデル 1-6-2 AIを活用した最新の技術や関連用語 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-7 度数分布表とヒストグラムの作成 2-7-1 作業用フォルダーの作成とファイルの準備 2-7-2 度数分布表とヒストグラムの作成1 2-7-3 度数分布表とヒストグラムの作成の準備 2-7-4 度数分布表とヒストグラムの作成2	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第13回 ゲストスピーカーによる講演(2) 応用分野・個別トピック（統計、アルゴリズム、時系列データ解析、自然言語処理、画像認識、生成AIなど）		
事前学修	あらかじめ指示する資料を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 その分野について、自身でも記事や資料を探し、背景や動向について理解しておくことが望ましい。	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、自身で調べる、あるいは教員に質問する。	2時間
第14回 【座学】データ・AIを扱う上での留意事項 【演習】散布図の作成と相関係数の算出		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 3. データ・AI利活用における留意事項 3-1 データ・AIを扱う上での留意事項 3-1-1 倫理的・法的・社会的課題 3-1-2 自身に関するデータのコントロール 3-1-3 データ倫理 3-1-4 人間中心のAI社会原則 3-1-5 データ・AI活用における負の事例 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-8 散布図の作成と相関係数の算出 2-8-1 作業用フォルダーの作成とファイルの準備 2-8-2 散布図の作成 2-8-3 グラフの複製 2-8-4 相関係数	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間

第15回 【座学】データを守る上での留意事項 【演習】定性データの扱い方とクロス集計		
事前学修	【座学】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 3-2 データを守る上での留意事項 3-2-1 データを守るための原則 3-2-2 データを守るための方法 3-2-3 セキュリティ事故の事例 【演習】授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、実際にPCを操作して必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-9 定性データの扱い方とクロス集計 2-9-1 データのダウンロード 2-9-2 作業用フォルダーの作成とファイルの準備 2-9-3 クロス集計表とピボットグラフの作成	2時間
事後学修	【座学】授業の内容について復習し、ノート等にまとめる。理解不足の箇所がある場合は自身で調べる、あるいは教員に質問する。 【演習】授業の内容について、実際にPC操作を繰り返し、その動作や結果についての理解を深める。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
試験等 主に【座学】部分の理解度を問うレポート課題を出す予定である。テーマ等は授業中に指示する。		
試験のフィードバックの方法 希望する学生には、メール等で個別にフィードバックを行う。		
必携書（教科書販売） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
[改訂新版] AIデータサイエンスリテラシー入門（吉岡剛志 編著，技術評論社，2024年，ISBN978-4-297-14409-8）		
必携書・参考書（教科書販売以外） 書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
オフィスアワー 質問は授業前後の教室で、あるいはメール等で受け付ける。		
連絡先 maegawa@m.ndsu.ac.jp		
留意事項 授業はOPIT1教室にて実施する。 教室のキャパシティの都合上、受講定員は50名とし、受講者の決定は「N抽選」にて行う。 抽選方法などの詳細は、学務部教務係からの掲示を確認すること。 自身のPCではなく、教室設置のPCからmanaba, Gmail, Microsoft365 などにアクセスすることがある。 大学から配布された各自のアカウント情報（ID／パスワード）をわかるようにしておくこと。		

情報学II					単位数	2単位
授業コード	12535	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期	
担当者氏名	前川 浩基					
時間割備考	2021年度以降入学生対象。2020年度以降入学生は情報科目。					
授業形態（主）	1 講義					
授業形態（副）						
担当形態	単独					
研究分野（大学院）						
本授業の概要						
これからの社会においては、データサイエンスを日常生活、仕事等の場で使いこなすことができる知識と技能が求められる。本講義では、表計算ソフトExcelを用いて、基礎的なデータ分析・データ活用の手法を学ぶことを目指す。ピボットテーブルやグラフを利用したデータ傾向の把握、分析ツールを利用した仮説検定やデータ間の関係性分析などを、実習を中心におこなう。						
アクティブラーニングの実施内容						
到達目標					対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	日常生活や社会/組織において、データ分析を活用する意味と目的について説明できる。				知識・技能／思考・判断・表現力	
2	データの特性や分析目的に応じて、適切な可視化をおこなうことができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	仮説・検証型のアプローチによってデータを適切に分析し、仮説の成否を検証することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	視覚化や数値化によって、変数同士の関係性を適切に表現・解釈することができる。				知識・技能／思考・判断・表現力	
5						
成績評価の基準					対応する到達目標の番号	
1	授業中の小テストおよび小レポート（70%）				1／2／3／4	
2	最終レポート（30%）				1／2／3／4	
3						
4						
5						
実務経験のある教員による授業科目			実務あり			
実務経験の授業への活用方法						
担当教員がこれまでに従事・研究してきたデータ分析プロジェクト等の内容を授業中に紹介し、学生の身近な問題にも関係すること、あるいは学生の将来の職業にも関係することを理解してもらう。						
日本語以外の言語による授業						
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間			
第1回 イン트로ダクション、Excelの基本操作						
事前学修	これまでにExcelについて学習した際の資料を読み返し、Excel操作について復習しておく。 自身のPCや、大学の環境でExcelを使用できるか確認しておく。				2時間	
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。				2時間	
第2回 データ分析をはじめる前に						
事前学修	授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 1. データ分析をはじめる前に 1-1 何のためにデータ分析するのか 1-2 データ分析のステップを確認する 1-3 データを準備するときに知っておきたいポイント				2時間	
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。				2時間	
第3回 データの傾向を把握することからはじめる(1) 店舗売上データを概観する						
事前学修	授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2. データの傾向を把握することからはじめよう 2-1 ジューススタンドの売上を分析する				2時間	
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。				2時間	

第4回 データの傾向を把握することからはじめる(2) 代表値からデータの傾向を探る		
事前学修	授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 2-2 代表値からデータの傾向を探る	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第5回 データを視覚化する(1) データを視覚化する		
事前学修	授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 3. データを視覚化しよう 3-1 データを視覚化する	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第6回 データを視覚化する(2) ピボットテーブルで集計する		
事前学修	授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 3-2 ピボットテーブルを使って集計表を作成する 3-3 データの大小・推移・割合を視覚化する	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第7回 データを視覚化する(3) さまざまなデータを視覚化する		
事前学修	授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 3-4 ヒートマップを使って視覚化する 3-5 データの分布を視覚化する 3-6 時系列データの動きを視覚化する	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第8回 仮説を立てて検証する(1) 仮説を立てる		
事前学修	授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 4. 仮説を立てて検証しよう 4-1 仮説を立てる	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第9回 仮説を立てて検証する(2) データを比較する		
事前学修	授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 4-2 2店舗の売上個数の平均を比較する 4-3 人気のある商品とない商品を確認する	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第10回 仮説を立てて検証する(3) 新しいアイデアを提案する		
事前学修	授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 4-4 新商品案を検討する	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第11回 関係性を分析してビジネスヒントを見つける(1) 変数の関係性を視覚化する		
事前学修	授業予定の必携書該当部分（下記）を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 5. 関係性を分析してビジネス品とを見つけよう 5-1 変数の関係性を視覚化する	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間

第12回 関係性を分析してビジネスヒントを見つける(2) 変数の関係性を数値化する		
事前学修	授業予定の必携書該当部分(下記)を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 5-2 変数の関係性を客観的な数値で表す 5-3 相関分析の注意点を確認する	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第13回 関係性を分析してビジネスヒントを見つける(3) データの関係性を分析する		
事前学修	授業予定の必携書該当部分(下記)を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 5-4 原因と結果の関係に注目して売上個数を分析する 5-5 アンケート結果を分析する	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第14回 シミュレーションをして最適な解を探る		
事前学修	授業予定の必携書該当部分(下記)を読み、用語やトピックについてあらかじめ調べておく。 また、実際にPCを操作して、必携書と異なる画面や動作がないか確認しておく。 6. シミュレーションして最適な解を探ろう 6-1 最適な解を探る 6-2 最適な価格をシミュレーションする 6-3 最適な広告プランをシミュレーションする	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は、次回の授業までに自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
第15回 総合演習、まとめ、振り返り		
事前学修	これまで14回の授業内容について復習し、難しかったところ、分からなかったところについて確認しておく。 また、実際にPCを操作して、これまでに学んだ操作を理解できているかを確認しておく。	2時間
事後学修	授業の内容について復習し、また実際にPCを操作して、その動作や結果についての理解を深める。 理解不足の箇所がある場合は自身で調べる、あるいは教員に質問する。 小レポートが課された場合は、その指示に従ってレポートを作成し、提出する。	2時間
試験等		
データ分析を扱うレポート課題を出す予定である。テーマ等は授業中に指示する。		
試験のフィードバックの方法		
希望する学生には、メール等で個別にフィードバックを行う。		
必携書(教科書販売)		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
よくわかる Excelではじめるデータ分析入門 関数・グラフ・ピボットテーブルから分析ツールまで 富士通ラーニングメディア, FOM出版, 978-4-86775-148-0		
必携書・参考書(教科書販売以外)		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし		
オフィスアワー		
質問は授業前後の教室で、あるいはメール等で受け付ける。		
連絡先		
maegawa@m.ndsu.ac.jp		
留意事項		
情報学Ⅰの履修を要件とはしないが、Excelの基本操作をある程度習得している学生を対象としている。 授業はOPIT教室にて実施する。 教室のキャパシティの都合上、受講定員は50名とし、受講者の決定は「N抽選」にて行う。 抽選方法などの詳細は、学務部教務係からの掲示を確認すること。 自身のPCではなく、教室設置のPCからmanaba, Gmail, Microsoft365 などにアクセスすることがある。 大学から配布された各自のアカウント情報(ID／パスワード)をわかるようにしておくこと。		

化学 I				単位数		2単位	
授業コード	12580	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第 2 期		
担当者氏名	齋藤 啓太						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
私たちの身の回りに存在するものは全て化学物質で構成されており、その性質の多くは化学を理解することで説明できる。例えばなぜその服の色は赤に見えるのか、なぜその医薬品は頭痛に効くのか、などである。本講義では、まず化学の基礎を理解した上で、身の回りの様々な現象を化学の知識で説明できるようになることを目的とする。講義では、学生-講師間の対話を様々なツールを用いて行い、学生が受け身にならず積極的に情報発信を行うことを促す。							
アクティブラーニングの実施内容							
到達目標				対応するディプロマポリシー （ 1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）			
1	化学物質を構成する基本的な要素（原子・分子）の構造と性質について説明できる。			知識・技能			
2	身の回りの現象について、化学的な知識と関連付けて理解し、説明できる。			思考・判断・表現力／主体性			
3							
4							
5							
成績評価の基準				対応する到達目標の番号			
1	期末試験（70%）			1／2			
2	受講態度（30%）			2			
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目							
実務経験の授業への活用方法							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間			
1 イントロダクション～化学が何の役に立つ？～							
事前学修	次週に予定されているテーマに関して、インターネット等を利用して調査しておくこと（約30分）。						
事後学修							
2 化学の基礎（1）原子の構造、分子の構造							
事前学修							
事後学修							
3 化学の基礎（2）化学結合、化学反応							
事前学修							
事後学修							
4 化学の基礎（3）無機化合物と有機化合物							
事前学修							
事後学修							
5 生物と無生物							
事前学修							
事後学修							

6 生体の化学		
事前学修		
事後学修		
7 医薬品の化学		
事前学修		
事後学修		
8 DNAと病気		
事前学修		
事後学修		
9 身の回りの化学（1）鉛筆とダイヤモンド		
事前学修		
事後学修		
10 身の回りの化学（2）プラスチック		
事前学修		
事後学修		
11 身の回りの化学（3）アルコール		
事前学修		
事後学修		
12 身の回りの化学（4）電池		
事前学修		
事後学修		

13 身の回りの化学（5）色素		
事前学修		
事後学修		
14 身の回りの化学（6）西洋薬		
事前学修		
事後学修		
15 身の回りの化学（7）漢方薬		
事前学修		
事後学修		
試験等		
16週目に定期試験を行う。		
試験のフィードバックの方法		
試験終了後に模範解答を掲示する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし		
オフィスアワー		
質問はメール等で随時受け付ける。		
連絡先		
ksaito@shujitsu.ac.jp		
留意事項		

化学ⅠⅠ				単位数	2単位
授業コード	12581	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	稲垣 賢二				
時間割備考	食品栄養学科の1年生は履修することが望ましい。				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
生化学は、生命現象のしくみを理解する学問です。したがって「人は食べ物からどうやってエネルギーを得ているのか？」など、文系の人にとっても、健康な毎日を過ごすためにとても大切なことです。暮らしに身近な糖や脂質、アミノ酸、ビタミンや核酸のかたちやはたらきを学び、上手に栄養を摂取して健康に生きるための知識を学習し、習得します。この授業は「生化学」の入門講義として行います。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	糖質、脂質、蛋白質、酵素、ビタミン、核酸など生体関連物質の構造と機能を学習することで、それらの生理的意義に対する理解を深め、健康に生きるための生化学に関する知識を広げ、説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
2	身の回りの現象について、化学的な知識と関連付けて理解し、説明できる。			思考・判断・表現力／主体性	
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	確認テスト2回（40%）			1／2	
2	受講態度、小テスト、レポートなど（60%）			1／2	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 講義の概要説明					
事前学修	シラバスを読んで、教科書を購入または手配しておくこと				
事後学修	講義後は、内容について復習して理解をしておくこと（1時間）。				
2 生命科学研究の歴史					
事前学修	生命科学研究の歴史について高校の教科書で復習しておくこと。特に重要なパスツールやコッホの業績について理解を深めておくことが望ましい。				
事後学修	必ず講義の復習をしておくこと。特にパスツールとコッホ等講義で紹介した研究者の現代に繋がる業績について、理解を深めておくこと。				
3 細胞とは 原核生物と真核生物					
事前学修	生命の基本単位である細胞について、高校で学んだことを教科書等で復習しておくこと				
事後学修	生命の基本単位である細胞の構造、細胞内小器官の構造と機能について、ポイントを整理し復習しておくこと				
4 糖質の構造と機能 単糖の構造と性質					
事前学修	教科書の第2章炭水化物を読んで、予習をしておくこと（1時間）。				
事後学修	糖質（炭水化物）とは何か、単糖類の性質、二糖類の種類について復習し、理解しておくこと				
5 多糖類の種類と性質					
事前学修	教科書の第2章炭水化物の多糖類について予習しておくこと（1時間）。				
事後学修	多糖類の種類や性質、結合形式などを復習し、教科書の章末問題をしておくこと				

6 脂質の構造と機能 脂肪酸の構造と性質		
事前学修	教科書の第3章脂質を読んで、予習をしておくこと（1時間）。	
事後学修	脂質の構造と機能について、飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の種類、名称、構造と性質について復習し、教科書の章末問題をしておくこと。	
7 アミノ酸の構造と機能		
事前学修	教科書の第4章アミノ酸を読んで、予習をしておくこと（1時間）。	
事後学修	アミノ酸とは何か、アミノ酸の種類と性質、構造を整理し、理解しておくこと。教科書の章末問題をしておくこと。	
8 蛋白質の構造と機能		
事前学修	教科書の第5章蛋白質・酵素の前半蛋白質の部分を読んで、予習をしておくこと（1時間）。	
事後学修	蛋白質とは何か、蛋白質の立体構造とはどのようなものかを整理し、理解しておくこと。関連する章末問題をしておくこと。	
9 中間確認テストと中間まとめ		
事前学修	第8回までの講義で紹介した重要なポイントについて、理解を深めておくこと。	
事後学修	中間確認テストで間違えたところを学び直して、理解しておくこと。	
10 酵素の種類と性質		
事前学修	教科書の第5章蛋白質・酵素の後半の酵素の部分を読んで、予習をしておくこと（1時間）。	
事後学修	酵素とは、酵素反応の特長、酵素の種類等について、整理し、理解しておくこと。教科書の章末問題をしておくこと。	
11 ビタミンと補酵素		
事前学修	教科書中のビタミンに関する数カ所の記事を読み、理解を深めておくこと。	
事後学修	ビタミンとは何か、補酵素とは何か、水溶性ビタミンと脂溶性ビタミンの種類と性質について整理し、理解しておくこと。	
12 ヌクレオチドの構造と機能		
事前学修	教科書第6章ヌクレオチドと核酸の前半ヌクレオチドの部分を読んで、理解を深めておくこと。	
事後学修	セントラルドグマとは何か、核酸研究の歴史、ヌクレオチドの構造について、講義内容を復習し、理解しておくこと。	

13 核酸の構造と機能		
事前学修	教科書の第6章ヌクレオチド・核酸の後半核酸の部分を読んで、理解を深めておくこと（1時間）。	
事後学修	核酸（DNAとRNA）の構造の特徴、相違点について理解しておくこと。教科書の章末問題をしておくこと。	
14 遺伝子操作技術と現代		
事前学修	遺伝子操作技術について、予習をし、理解を深めておくこと（1時間）。	
事後学修	遺伝子操作技術についての講義を復習し、理解しておくこと。	
15 学期末テストとその振り返り		
事前学修	中間確認テスト以降の講義で学んだ点について、理解し、章末問題を解答できるようにしておくこと。	
事後学修		
試験等		
講義期間の中頃と終盤に2回の確認テストを行う。		
試験のフィードバックの方法		
確認テスト終了後、模範解答の説明を行う予定。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
はじめての生化学（第2版）／平澤 栄次／化学同人／2100／9784759815894／冊子版		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
【第2版】これだけ！生化学／稲垣賢二／監修 生化学若い研究者の会／著／秀和システム／1600／9784798064109／冊子版		
スミス基礎生化学／J. G. Smith／東京化学同人／2400／9784807920150／冊子版		
オフィスアワー		
質問は講義時間中に随時受け付ける。		
連絡先		
kinagaki@okayama-u. ac. jp		
留意事項		

生物学Ⅰ				【単位数		2単位	
授業コード	12600	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第１期		
担当者氏名	杉本 幸雄						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）	2 演習						
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
本授業はヒトを中心に身体の成り立ちや身近な病気について学ぶことで生命系の成り立ちを理解し、健康的に生活するための知識を修得することを目的とする。							
アクティブラーニングの実施内容		発見学習					
到達目標				対応するディプロマポリシー （１知識・技能/２思考・判断・表現力/３主体性）			
1	①ヒトの身体の仕組みを説明することができる			知識・技能			
2	②身近な病気から原因を判別できる			知識・技能／思考・判断・表現力			
3	③健康的な生活を実行できる			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性			
4	④病気になった時に的確に対応できる			知識・技能／思考・判断・表現力			
5	⑤社会と医療の関係を理解できる			知識・技能／思考・判断・表現力			
成績評価の基準				対応する到達目標の番号			
1	レポート 70%（①、②、③）			1／2／3			
2	定期試験 30%（①、②、③）			1／2／3			
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目		実務あり					
実務経験の授業への活用方法							
研究員として医薬品開発分野で新薬開発業務に携わっていた経験から、医療問題の構造を多角的に取り上げ、学生に実践的な健康問題解決への取り組みを促す。							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間					
1 健康とは							
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約１時間）。			約１時間			
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約１時間）をすること。			約１時間			
2 ホルモンの役割と病気							
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約１時間）。			約１時間			
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約１時間）をすること。			約１時間			
3 骨と筋肉の役割と病気							
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約１時間）。			１時間			
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約１時間）をすること。			約１時間			
4 心臓の役割と病気							
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約１時間）。			約１時間			
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約１時間）をすること。			約１時間			
5 血管の役割と病気							
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約１時間）。			約１時間			
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約１時間）をすること。			約１時間			

6 血液の役割と病気		
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約1時間）。	約1時間
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約1時間）をすること。	約1時間
7 腎臓の役割と病気		
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約1時間）。	約1時間
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約1時間）をすること。	約1時間
8 胃の役割と病気		
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約1時間）。	約1時間
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約1時間）をすること。	約1時間
9 腸の役割と病気		
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約1時間）。	約1時間
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約1時間）をすること。	1時間
10 肝臓と膵臓の役割と病気		
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約1時間）。	約1時間
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約1時間）をすること。	約1時間
11 肺の役割と病気		
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約1時間）。	約1時間
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約1時間）をすること。	約1時間
12 感覚器の役割と病気		
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約1時間）。	約1時間
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約1時間）をすること。	約1時間

13 鼻の役割と病気		
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約1時間）。	約1時間
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約1時間）をすること。	（約1時間
14 皮膚の役割と病気		
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約1時間）。	約1時間
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約1時間）をすること。	約1時間
15 免疫の役割と病気		
事前学修	事前学習として次週に予定されているテーマに関して関連する話題をまとめておくこと（約1時間）。	約1時間
事後学修	事後学習として授業を参考に興味ある内容について理解を深める。レポート・試験では、それらをもとに多角的、発展的な知識や論述等を求める。毎回の授業を真剣に聞くとともに十分な事後学習（約1時間）をすること。	約1時間
試験等		
定期試験、レポート		
試験のフィードバックの方法		
試験終了後に模範解答を公開する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし		
オフィスアワー		
質問は授業時間後に教室で直接受け付ける。		
連絡先		
sugimoto@okayama-u.ac.jp		
留意事項		

生物学ⅠⅠ			単位数	2単位	
授業コード	12610	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	小林 謙一、長濱 統彦、吉金 優				
時間割備考	食品栄養学科の1年生は履修することが望ましい。				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	3 実験・実習・実技				
担当形態	複数				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
生物学は、自然科学における最重要な学問領域となりつつある。それは、生命科学や生物多様性など我々を取り巻く諸問題が、「生命」の本質に直結しているからである。したがって、生物学の基礎的な知識を修得しておくことは、現代社会で生きていく上で必須である。そこで本講義では、「ヒト」の生物学、そしてヒトの生命を支える「食品」の生物学、そしてヒトをはじめとする生物全般が生きている「生態系」に焦点を当て、それらの基本的知識を学び、「生命とは何か」について科学的に説明できることを目的とする。					
アクティブラーニングの実施内容		体験学習			
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）		
1	人体の構成を説明できる。			知識・技能	
2	生体の構造と機能の連関を説明することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
3	ヒトについて、生物界の生物の一種としてとらえ、説明することができる。			思考・判断・表現力／主体性	
4					
5					
成績評価の基準			対応する到達目標の番号		
1	受講態度（15%）			1	
2	レポート（50%）			2／3	
3	期末試験（35%）			1／2／3	
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1. オリエンテーション：本授業の趣旨と授業の概要について説明する（小林）					
事前学修	本科目のシラバスを熟読し、本授業の趣旨と授業の概要について予め理解しておく				120分程度
事後学修	本講義に臨む意欲などについての課題をmanabaフォリオを通して提出する				120分程度
2. 生物と生物学：生物学の成り立ちから歴史について説明できるようになる（小林）					
事前学修	生物学の成り立ちから歴史についての資料を予め熟読して、不明点などを明確にしておく。				120分程度
事後学修	生物学の成り立ちから歴史についての講義に関する復習課題に回答し、manabaフォリオを通して提出する				120分程度
3. 生体と細胞の構造：「内」と「外」の概念を通して生物の定義を理解できるようになる（小林）					
事前学修	生体と細胞の構造：「内」と「外」の概念を通して生物の定義についての資料を予め熟読して、不明点などを明確にしておく。				120分程度
事後学修	生体と細胞の構造：内」と「外」の概念を通して生物の定義についての講義に関する復習課題に回答し、manabaフォリオを通して提出する				120分程度
4. 免疫について（1）：「自己」と「非自己」の科学について理解できるようになる（小林）					
事前学修	「自己」と「非自己」の科学についての資料を予め熟読して、不明点などを明確にしておく。				120分程度
事後学修	「自己」と「非自己」の科学についての講義に関する復習課題に回答し、manabaフォリオを通して提出する				120分程度
5. 免疫について（2）：免疫の仕組みや病気について説明できるようになる（小林）					
事前学修	免疫の仕組みや病気についての資料を予め熟読して、不明点などを明確にしておく				120分程度
事後学修	免疫の仕組みや病気についての講義に関する復習課題に回答し、manabaフォリオを通して提出する				120分程度

6. 進化の仕組み：突然変異や種分化の仕組みについて説明できるようになる（小林）		
事前学修	突然変異や種分化の仕組みについての資料を予め熟読して、不明点などを明確にしておく	120分程度
事後学修	突然変異や種分化の仕組みについての講義に関する復習課題に回答し、manabaフォリオを通して提出する	120分程度
7. 老化と寿命とヒトの病気：病気のメカニズムを生物学的に考えることができるようになる（小林）		
事前学修	老化と寿命とヒトの病気についての資料を予め熟読して、不明点などを明確にしておく	120分程度
事後学修	老化と寿命とヒトの病気についての講義に関する復習課題に回答し、manabaフォリオを通して提出する	120分程度
8. 食品とは？（吉金）		
事前学修	食品とは？ の範囲のプリントを熟読しておくこと	120 min
事後学修	食品とは？ の範囲の復習をしておくこと。課題レポートに回答できるように考えをまとめておくこと。	120 min
9. 生物（農産物、畜産物、水産物）とは？（吉金）		
事前学修	生物（農産物、畜産物、水産物）とは？ の範囲のプリントを熟読しておくこと	120 min
事後学修	生物（農産物、畜産物、水産物）とは？ の範囲の復習をしておくこと。課題レポートに回答できるように考えをまとめておくこと。	120 min
10. 食品（生物）が食卓に並ぶまでを考える（吉金）		
事前学修	食品（生物）が食卓に並ぶまでを考える の範囲のプリントを熟読しておくこと	120 min
事後学修	食品（生物）が食卓に並ぶまでを考える の範囲の復習をしておくこと。課題レポートに回答できるように考えをまとめておくこと。	120 min
11. 遺伝子組み換え食品、ゲノム編集食品とは？（吉金）		
事前学修	遺伝子組み換え食品、ゲノム編集食品とは？ の範囲のプリントを熟読しておくこと	120 min
事後学修	遺伝子組み換え食品、ゲノム編集食品とは？ の範囲の復習をしておくこと。課題レポートに回答できるように考えをまとめておくこと。	120 min
12. 菌類とはなにか？きのことはどんな生物か？（学外でのきのこ採集を含む）（長濱）		
事前学修	「菌類とはなにか？きのことはどんな生物か？」内容のプリントを予め配布するので、熟読したうえで自ら調べる	120 min
事後学修	次回の授業までに「菌類とはなにか？きのことはどんな生物か？」に関するレポートを十分に復習する	120 min

13. きのこの分類と見分け方（学外でのきのこ採集を含む）（長濱）		
事前学修	「きのこの分類と見分け方（学外でのきのこ採集を含む）」内容のプリントを予め配布するので、熟読したうえで自ら調べる	120 min
事後学修	次の授業までに「きのこの分類と見分け方（学外でのきのこ採集を含む）」に関するレポートを提出するなかで十分に復習する	120 min
14. きのこの生態とその生態学的な役割について（学外でのきのこ採集を含む）（長濱）		
事前学修	「きのこの生態とその生態学的な役割について（学外でのきのこ採集を含む）」内容のプリントを予め配布するので、熟読したうえで自ら調べる	120 min
事後学修	次の授業までに「きのこの生態とその生態学的な役割について（学外でのきのこ採集を含む）」に関するレポートを提出するなかで十分に復習する	120 min
15. 菌類の進化と多様性におけるきのこの位置づけについて（長濱）		
事前学修	「菌類の進化と多様性におけるきのこの位置づけについて」内容のプリントを予め配布するので、熟読したうえで自ら調べる	120 min
事後学修	次の授業までに「菌類の進化と多様性におけるきのこの位置づけについて」に関するレポートを提出するなかで十分に復習する	120 min
試験等		
16週目に筆記試験を行う。さらにレポートを提出する。		
試験のフィードバックの方法		
試験終了後に解説する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
毎回、プリントを配布する。		
オフィスアワー		
小林 月曜日4時限		
連絡先		
k4kobaya@post.ndsu.ac.jp（小林） nghm@post.ndsu.ac.jp（長濱） yyoshikane@m.ndsu.ac.jp（吉金）		
留意事項		
12回～14回の授業は、11月3日「土曜日」に集中講義（10:00～15:00）として、岡山市立少年自然の家（ http://www.oka-shizennoie.com/page01.html ）におけるきのこ採集および観察、講義（現地集合。現地までのバス代が往復1600円程度と保険料がかかります。バス停から自然の家まで片道徒歩35分。小雨決行）を行います。これに参加可能な学生のみ履修するようにしてください。ただ、これに欠席しても総欠席数が5回を超えなければ単位資格は残ります。		

科学史Ⅰ				【単位数		2単位		
授業コード		12620	科目ナンバリング		11020-1234-o2	開講年度学期		2025年度第2期
担当者氏名		九鬼 一人						
時間割備考								
授業形態（主）		1 講義						
授業形態（副）								
担当形態		単独						
研究分野（大学院）								
本授業の概要								
科学史Ⅰでは一、科学と宗教のかかわり、二、科学と現代社会のかかわり、ならびに三、科学の方法論的特質（実証主義）について学びます。一として、近代の科学革命を促した宗教の影響・進化論とキリスト教世界観の問題をとりあげ、現実の科学史は科学と宗教の対立史観で捉えられないことを解説します。それをつうじて幅広い教養を身につけ、表現力・思考力を培うことを目標とします(CPとの関連)。二として、科学者として現代に生きること・核物理と科学の倫理を扱い、学生諸君とともに現代科学のあるべき姿を考えます。三として、実験・観測の方法論的問題に関連して、ケプラー・ガリレオ・ニュートンによる数的処理の実例等を紹介しつつ、現代科学のトピックも取り上げながら科学的精神の独自の「実証性」を浮き彫りにします。授業のなかでは、毎回課題レポートを書いてもらいます。原則として、教材・課題等はインターネットの掲示板で確認できるようにします。なお資料の分量を本年より3割削減します（ⅠとⅡの統合経過期間が過ぎたため）。 授業にさいして携行するもの 資料(村上陽一郎『西欧近代科学〈新版〉』)のコピー(pdfは掲示板にアップする)。教科書(村上陽一郎『科学者とは何か』は科学史を俯瞰するために用いる)。授業初回に配布する予習・復習ワークブック（シラバスからダウンロードもできる）。スマホ。提出した課題レポート等は、教育的見地から、一部相互に閲覧可能とする回があります。あらかじめご了承ください。								
アクティブラーニングの実施内容			問題解決型学習					
到達目標							対応するディプロマポリシー (1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性)	
1	西欧において、科学の発展を促した一つの要因は、キリスト教の信仰であったことを記述できる。						知識・技能／思考・判断・表現力	
2	西欧近代科学において時代が下るにつれ、「実証性」が重視された結果、生じた「科学と宗教のちがひ」、もしくは科学の宗教からの離脱について説明できる。						思考・判断・表現力	
3	科学と宗教の関係、科学の倫理について、主体的で基本的な問いを提示できる。						主体性	
4	課題レポートの添削をつうじ、表現力・思考力を向上させることができる。						思考・判断・表現力	
5								
成績評価の基準							対応する到達目標の番号	
1	毎回の課題レポート 毎回の小レポート評価のさい、知識を応用して表現力・思考力が、どのように発揮されているかを重視します。 63点						1／2／4	
2	期末レポート 科学史のトピックについての論述問題。科学と宗教の発想の関係を踏まえつつ、科学のあるべき姿を考察できているかを評価します 30点						1／2／3	
3	英文和訳（フランクリポートの翻訳）の問題をつうじ、科学史的知識の把握度、翻訳の巧拙を中心に、異文化理解力を評価します。 7点						4	
4								
5								
実務経験のある教員による授業科目								
実務経験の授業への活用方法								
日本語以外の言語による授業								
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間				
◆イントロダクション 1. 前近代の科学・近代の科学・現代の科学。 全体のオリエンテーションをします。自然をどう捉えるかの意見交換。								
事前学修	シラバスを熟読して授業に臨むこと。						2時間	
事後学修	1回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削済レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。						2時間	
◆科学と宗教のかかわり(1)・近代科学への宗教的動機づけ 2. 地動説と新プラトン主義。								
事前学修	2回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。						2時間	
事後学修	2回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削済レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。						2時間	
3. ケプラーとオカルト。火星の公転半径を計算する。スマホ使って指数計算をします。								
事前学修	3回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。						2時間	
事後学修	3回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削済レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。						2時間	
4. ガリレオ・ニュートンの宗教観。								
事前学修	4回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。						2時間	
事後学修	4回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削済レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。						2時間	
◆科学の方法論的特質（実証主義）・近代科学と実証主義 5. ガリレオの月スケッチ。じっさい月のスケッチを描き、写メにとって提出。								
事前学修	5回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。						2時間	
事後学修	5回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削済レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。						2時間	

6. 斜面の実験と加速度運動。		
事前学修	6回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	6回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
7. ニュートンによるケプラー法則の解明。ブレイクの版画についての意見交換。		
事前学修	7回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	7回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
◆科学と宗教のかかわり (2) ・聖書と進化論		
8. ダーウィンと宗教。		
事前学修	8回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	8回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
9. 聖書の解釈史・その真理。アンソニー・ウェストンの聖書使用についての問いかけに答える。		
事前学修	9回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	9回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
10. その後の進化論と世界観。神の存在証明・人間原理の動画。		
事前学修	10回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	10回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
◆インターミッション		
11. 高木仁三郎と宮沢賢治。パワポで授業をする。		
事前学修	11回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	11回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
◆科学と現代社会のかかわり・現代科学と倫理		
12. 核物理の歴史。		
事前学修	12回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	12回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間

13. フランク・レポート。英文和訳のテクニックを磨くために課題を提出し、各自見せ合う。		
事前学修	13回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。12回に英文を分担させるから、13回の授業前にmanaba folio のレポート機能で和訳を提出すること。	2時間
事後学修	13回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削済レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
14. 科学者の反核運動。twitterの情報処理。		
事前学修	14回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	14回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削済レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
◆現代の科学 15. 実存の真理と科学の真理。現代物理学のBlu-ray視聴。裸の王様の話についての意見交換。		
事前学修	15回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	15回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。授業内容を前提に期末レポートを書くこと。	2時間
試験等		
期末レポートとして、近代科学史のトピックについての論述問題を課す。なお学期に一回、英文和訳のレポートを課します。		
試験のフィードバックの方法		
各回の提出レポートは添削して次週返却する。manaba folioに英文和訳の模範解答を掲載する。期末レポートは添削したものを、各自のmanabaのコレクションにて配布する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
科学者とは何か／村上 陽一郎／新潮社／1500／9784106004674／冊子版		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし。資料は紙媒体で一括して授業ごとに配布する予定です。資料を含めた教材は、manaba folioからダウンロードできるようにする予定です。また初回に予習・復習ワークブックを配布します。		
オフィスアワー		
情報伝達その他は、manaba folioを活用するので、掲示板に注意してください。質問は掲示板・コレクション・メールで受け付けます。		
連絡先		
s8185@m.ndsu.ac.jp ネット環境が不安定で一週間見られぬときがあった。そうしたときのために、予備アドレスを掲げておく。 kurashiki-kuki@k7.dion.ne.jp 自宅のアドレス。		
留意事項		
積極的に掲示板を活用することが望ましいです。		

6. 斜面の実験と加速度運動。		
事前学修	6回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	6回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
7. ニュートンによるケプラー法則の解明。ブレイクの版画についての意見交換。		
事前学修	7回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	7回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
◆科学と宗教のかかわり (2) ・聖書と進化論		
8. ダーウィンと宗教。		
事前学修	8回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	8回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
9. 聖書の解釈史・その真理。アンソニー・ウェストンの聖書使用についての問いかけに答える。		
事前学修	9回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	9回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
10. その後の進化論と世界観。神の存在証明・人間原理の動画。		
事前学修	10回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	10回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
◆インターミッション		
11. 高木仁三郎と宮沢賢治。パワポで授業をする。		
事前学修	11回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	11回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
◆科学と現代社会のかかわり・現代科学と倫理		
12. 核物理の歴史。		
事前学修	12回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	12回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間

13. フランク・レポート。英文和訳のテクニックを磨くために課題を提出し、各自見せ合う。		
事前学修	13回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。12回に英文を分担させるから、13回の授業前にmanaba folio のレポート機能で和訳を提出すること。	2時間
事後学修	13回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削済レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
14. 科学者の反核運動。twitterの情報処理。		
事前学修	14回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	14回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。添削済レポート・模範解答は次週配布するから反省の材料とすること。	2時間
◆現代の科学 15. 実存の真理と科学の真理。現代物理学のBlu-ray視聴。裸の王様の話についての意見交換。		
事前学修	15回の授業前に manaba folio 掲示板で指示をしたワークブックの事前課題を完成させてから授業に臨むこと。	2時間
事後学修	15回の授業後に manaba folio コレクションに提出レポートのコメントと評価を載せるから、それを踏まえて復習すること。授業内容を前提に期末レポートを書くこと。	2時間
試験等		
期末レポートとして、近代科学史のトピックについての論述問題を課す。なお学期に一回、英文和訳のレポートを課します。		
試験のフィードバックの方法		
各回の提出レポートは添削して次週返却する。manaba folioに英文和訳の模範解答を掲載する。期末レポートは添削したものを、各自のmanabaのコレクションにて配布する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
科学者とは何か／村上 陽一郎／新潮社／1500／9784106004674／冊子版		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし。資料は紙媒体で一括して授業ごとに配布する予定です。資料を含めた教材は、manaba folioからダウンロードできるようにする予定です。また初回に予習・復習ワークブックを配布します。		
オフィスアワー		
情報伝達その他は、manaba folioを活用するので、掲示板に注意してください。質問は掲示板・コレクション・メールで受け付けます。		
連絡先		
s8185@m.ndsu.ac.jp ネット環境が不安定で一週間見られぬときがあった。そうしたときのために、予備アドレスを掲げておく。 kurashiki-kuki@k7.dion.ne.jp 自宅のアドレス。		
留意事項		
積極的に掲示板を活用することが望ましいです。		

医学I（人体の構造と機能及び疾病）				単位数	2単位
授業コード	12641	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	大野 貴司				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
専門職である社会福祉士、公認心理師として働く際に必要な、人体の構造と機能及び疾患、公衆衛生、リハビリテーションに関する知識を習得できる講義とする。それ以外の専攻の学生にとっては、医学概論として基本的な医学知識が習得できる講義とする。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	①ライフステージにおける心身の変化、健康、疾患の捉え方、障害の分類、国際生活機能分類（ICF）について理解する。 講義1～3			知識・技能	
2	②身体の構造と心身の機能およびリハビリテーションの概要について理解する。 講義4～8			知識・技能	
3	③疾病・障害の予防、治療、予後について理解する。 講義9～13			知識・技能	
4	④公衆衛生、医学に関する社会の仕組みについて理解する。 講義3、14～15			知識・技能	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業への取り組み度 60%			1/2/3/4	
2	定期試験 40%			1/2/3/4	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務経験あり			
実務経験の授業への活用方法					
現役の臨床医としての経験を授業に反映させる					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 ライフステージにおける心身の変化と健康問題（1）ライフステージにおける心身の特徴、心身の加齢・老化					
事前学修					
事後学修	授業予定の内容を予習し、授業後に知識を整理する。				
2 ライフステージにおける心身の変化と健康問題（2）ライフステージ別の健康問題					
事前学修					
事後学修					
3 健康および疾患の捉え方 健康と疾患の概念、国際生活機能分類（ICF）					
事前学修					
事後学修					
4 身体構造と心身機能（1）人体部位の名称					
事前学修					
事後学修					
5 身体構造と心身機能（2）器官系と臓器の役割					
事前学修					
事後学修					

6 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程 疾病の発生原因と成立機序		
事前学修		
事後学修		
7 リハビリテーションの概要と範囲（１）リハビリテーションの定義、リハビリテーションの目的		
事前学修		
事後学修		
8 リハビリテーションの概要と範囲（２）リハビリテーションの対象、リハビリテーションの方法		
事前学修		
事後学修		
9 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション（１）感染症、神経疾患・認知症・高次脳機能障害、脳血管障害		
事前学修		
事後学修		
10 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション（２）心疾患・内分泌・代謝疾患		
事前学修		
事後学修		
11 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション（３）呼吸器疾患、腎・泌尿器疾患、消化器・肝胆膵疾患		
事前学修		
事後学修		
12 疾病と障害およびその予防・治療・予後（４）骨・関節の疾患、血液・免疫・アレルギー疾患、眼科疾患、視覚障害、耳鼻咽喉疾患、聴覚障害、平衡機能障害		
事前学修		
事後学修		
13 疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション（５）口腔疾患、婦人科・産科、精神疾患・精神障害・発達障害		
事前学修		
事後学修		

14疾病と障害およびその予防・治療・予後・リハビリテーション（6） 小児科疾患・肢体不自由・知的障害高齢者に多い疾患、生活習慣病（総論）・内部障害、悪性腫瘍と緩和ケア		
事前学修		
事後学修		
15公衆衛生 公衆衛生の概要、健康増進と保健医療対策		
事前学修		
事後学修		
試験等		
16 学期末試験		
試験のフィードバックの方法		
模範解答を公開する		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
最新社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集 中央法規 医学概論		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
参考書 公認心理師カリキュラム準拠 人体の構造と機能及び疾病 第2班 武田克彦・岩田淳・小林靖編 医歯薬出版株式会社		
オフィスアワー		
オフィスアワーは設けない。授業の前後で質問を受けます。		
連絡先		
留意事項		
・講義前に、別途資料を配布する。		

医学ⅠⅠ				単位数		2単位	
授業コード	12650	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期		
担当者氏名	宮下 雄博						
時間割備考							
授業形態（主）	1 講義						
授業形態（副）							
担当形態	単独						
研究分野（大学院）							
本授業の概要							
ありふれた疾患や近年話題の疾患などに触れることで医療を身近なものとしてとらえる事を目的とする							
アクティブラーニングの実施内容							
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）			
1	各種疾患の病態を中心とした概要について説明できる			知識・技能			
2	生活習慣病や各種感染症に対する予防について説明できる			知識・技能／思考・判断・表現力			
3							
4							
5							
成績評価の基準				対応する到達目標の番号			
1	授業態度（50%）			1／2／3			
2	定期試験（50%）			1／2／3			
3							
4							
5							
実務経験のある教員による授業科目		実務あり					
実務経験の授業への活用方法							
臨床で得られた知見と一般的医学知識を中心とした講義からリアルワールドの医療の一端を感じてもらいたい							
日本語以外の言語による授業							
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間					
高血圧							
事前学修	不要						
事後学修	高血圧の病態と分類、治療や予防についてまとめること					1時間	
糖尿病 1							
事前学修	不要						
事後学修	糖尿病の病態と合併症などについて復習しておくこと					1時間	
糖尿病 2							
事前学修	不要						
事後学修	糖尿病の治療と予防についてまとめること					1時間	
脂質異常症							
事前学修	不要						
事後学修	脂質異常症の病態と予防について復習しておくこと					1時間	
メタボリック症候群							
事前学修	不要						
事後学修	メタボリック症候群と保健指導についてまとめること					1時間	

肥満と肥満症		
事前学修	不要	
事後学修	肥満と肥満症の違いについて理解しておくこと	1時間
CKD・DKD		
事前学修	不要	
事後学修	CKD・DKDについて理解しておくこと	1時間
フレイル・サルコペニア		
事前学修	不要	
事後学修	高齢者特有の病態について理解しておくこと	1時間
感染症と癌		
事前学修	不要	
事後学修	癌に関連する感染症対策についてまとめておくこと	1時間
COVID-19		
事前学修	不要	
事後学修	COVID-19の出現から現在に至るまでを復習しておくこと	1時間
最近注目されている感染症		
事前学修	不要	
事後学修	身近ではあるが重要な感染症について理解しておくこと	1時間
災害医療		
事前学修	不要	
事後学修	災害時における医療活動について理解しておくこと	1時間
職業性疾病		
事前学修	不要	
事後学修	職業に関連する疾患についてまとめておくこと	1時間

免疫とアレルギー・膠原病		
事前学修	不要	
事後学修	免疫に関連する各種疾患についてまとめておくこと	1時間
最近の話題		
事前学修	不要	
事後学修	最近の医療のトピックスについて復習しておくこと	1時間
試験等		
16 週目に筆記試験を行う		
試験のフィードバックの方法		
試験は講義内容から出題されるため各自で講義内容を復習		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
なし		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
毎回授業で資料を配布		
オフィスアワー		
質問は授業後に受け付ける		
連絡先		
留意事項		
授業中の録音・録画を禁ずる 試験に試料の持ち込みは可であるが紙媒体に限る		

医学III（精神疾患とその治療）				単位数	2単位
授業コード	12660	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	中島 誠				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
精神症状、精神疾患の診断や治療等について理解し、その知識が今後に生かすことが出来ることを目標とする。 1 精神疾患総論（精神医学とは、精神症状、診断と面接法、薬物療法、精神療法など） 2 精神医学各論（代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む） 3 リエゾン精神医学、社会精神医学、医療機関との連携等					
到達目標は、授業内容の理解と可能な範囲での実践(事例検討等)					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	各精神疾患の概要とその治療などについて説明することが出来る。				知識・技能
2	提示する事例がどの精神疾患に当てはまるのか、検討・考察できる。				知識・技能／思考・判断・表現力
3	提示する事例のアセスメントや治療、対応等について検討・考察できる。				知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	期末試験(100%)				1／2／3
2					
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間		
精神医学とは 精神障害における症状					
事前学修	予定範囲の教科書一読				20分
事後学修	教科書、資料の振り返り				20分
精神障害における症状 精神科面接法と診断への過程					
事前学修	予定範囲の教科書一読				20分
事後学修	教科書、資料の振り返り				20分
精神科面接法と診断への過程					
事前学修	予定範囲の教科書一読				20分
事後学修	教科書、資料の振り返り				20分
症状性を含む器質性精神障害					
事前学修	教科書、予定範囲の一読				20分
事後学修	教科書、資料の振り返り				20分
精神作用物質による精神および行動の障害					
事前学修	予定範囲の教科書、一読				20分
事後学修	教科書、資料の振り返り				20分

統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害		
事前学修	予定範囲の教科書、一読	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
気分（感情）障害		
事前学修	予定範囲の教科書、一読	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害		
事前学修	予定範囲の教科書、一読	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群		
事前学修	予定範囲の教科書、一読	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
成人のパーソナリティおよび行動の障害		
事前学修	予定範囲の教科書、一読	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
児童・青年期の精神障害		
事前学修	予定範囲の教科書、一読	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
高齢者と精神医学		
事前学修	予定範囲の教科書、一読	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分

精神科包括治療1		
事前学修	予定範囲の教科書、一読	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
精神科包括治療2		
事前学修	予定範囲の教科書、一読	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
地域社会と精神医療・保健・福祉		
事前学修	予定範囲の教科書、一読	20分
事後学修	教科書、資料の振り返り	20分
試験等		
16週目に期末試験		
試験のフィードバックの方法		
必要に応じて対応する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
【第3版】学生のための精神医学／太田保之／編 上野武治／編／医歯薬出版／3500／9784263235911／冊子版		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
オフィスアワー		
授業終了後に教室で質問を受け付ける。 電子メールでも受け付ける。メールアドレスは初回授業時に提示。		
連絡先		
osbss2024@gmail.com		
留意事項		

心理学I（感情・人格心理学）				単位数	2単位
授業コード	12905	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	芝崎 美和				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
人の心理について、感情・人格心理学の観点から学ぶ。具体的には、感情に関する理論及び感情喚起の機序、感情が行動に及ぼす影響、人格の概念及び形成過程、人格の類型、特性等について理解する。					
アクティブラーニングの実施内容					
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	感情に関する理論及び感情喚起の機序について説明ができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	感情が行動に及ぼす影響について説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	人格の概念及び形成過程について説明ができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	人格の類型、特性等について説明ができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	筆記試験（100％）			1／2／3／4	
2					
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧				事前・事後学修内容と時間	
1 感情の定義、感情の発生					
事前学修	次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。				
事後学修					
2 感情に関する理論					
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。				
事後学修					
3 感情のメカニズム					
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。				
事後学修					
4 感情を理解する力、表出する力					
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。				
事後学修					
5 感情と行動					
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。				
事後学修					

6 感情の制御		
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。	
事後学修		
7 感情にまつわる問題と援助		
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。	
事後学修		
8 パーソナリティとは		
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。	
事後学修		
9 パーソナリティの測定		
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。	
事後学修		
10 パーソナリティ理論		
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。	
事後学修		
11 パーソナリティの発達、形成		
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。	
事後学修		
12 アイデンティティの発達		
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。	
事後学修		
13 自己認知：感情的側面		
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。	
事後学修		

14 自己認知：行動的側面		
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。	
事後学修		
15 「自分らしく」とは		
事前学修	前週の学習内容を復習し、次週に予定されている学習内容について、学習者自身の体験を振り返り、自分なりにまとめておくこと（20分）。	
事後学修		
試験等		
定期試験（筆記試験）を実施する。		
試験のフィードバックの方法		
試験終了後に模範解答を掲示する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
使用しない（随時推薦図書を紹介する）。		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書： なし 参考書： 中間玲子（編） 2020 感情・人格心理学：「その人らしさ」をかたちづくるもの ミネルヴァ書房		
オフィスアワー		
非常勤講師のため、質問等は授業後に教室で受け付ける。		
連絡先		
留意事項		

ことばと社会				単位数	2単位
授業コード	18030	科目ナンバリング	110Z0-1234-o2	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	高阪 香津美				
時間割備考	8/7（1-3限）, 8/25-28（1-3限）, 8/29（1限試験）2019年度以前入学生対象。2020年度以降入学生は自立力A群。				
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）					
本授業の概要					
本授業では、多言語・多文化化する日本社会とことばの問題に着目し、日本に暮らす外国人がどのような場面でいかなる課題を抱えながら生活をしているのか、その課題をどうすれば解決することができるのかについて主体的に学び、考えます。また、このテーマは、今、この瞬間も議論がなされ、動いているものであるため、常に、社会の動向に目や耳を傾けるべく、ニュースや新聞記事も扱います。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	物事を批判的に捉えることができる。			思考・判断・表現力	
2	多文化化する日本社会で生じる様々なことばの事象を説明することができる。			知識・技能	
3	授業内容や自らが調べたことをつなげあわせ、課題解決のための方法を考えることができる。			思考・判断・表現力	
4	自分の身の回りで起こっている事柄に関心を持つことができる。			主体性	
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	小テスト（20%）			2／4	
2	コミュニケーション問題に関するグループディスカッションの成果発表（20%）			1／3	
3	日本人住民と外国人住民がともに学ぶ活動案の作成課題（20%）			1／3	
4	期末試験（40%）			1／2／3／4	
5					
実務経験のある教員による授業科目					
実務経験の授業への活用方法					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
1 本授業の進め方、評価、課題に関する説明、日本語教育に関連する試験の紹介、教授者の自己紹介					
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。			各回30分（目安）	
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。			各回30分（目安）	
2 日本に暮らす外国人、多言語・多文化化する岡山県の現状					
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。			各回30分（目安）	
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。			各回30分（目安）	
3 外国人住民が抱えることばの問題					
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。			各回30分（目安）	
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。			各回30分（目安）	
4 言語サービス					
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。			各回30分（目安）	
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。			各回30分（目安）	
5 言語景観					
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。			各回30分（目安）	
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。			各回30分（目安）	

6 日本語非母語話者とのコミュニケーション（グループディスカッション）		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
7 「やさしい日本語」に関する基礎知識と実践		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
8 コミュニティ通訳		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
9 バイリンガリズム		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
10 外国人児童・生徒に対する日本語教育		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
11 外国人児童・生徒に対する母語・継承語教育		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）
12 日本の学校における外国語教育		
事前学修	本授業は集中講義により１日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回３０分（目安）
事後学修	１日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回３０分（目安）

13 日本人住民と外国人住民がともに学ぶ活動案の発表（フィードバックと共有）		
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回30分（目安）
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回30分（目安）
14 多文化共生のための活動を行うゲストスピーカーによる活動内容報告		
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回30分（目安）
事後学修	1日の最初の授業回の開始時に小テストを実施するため、前日に学習した内容すべての復習が必要となる。	各回30分（目安）
15 今学期の総復習		
事前学修	本授業は集中講義により1日に数多くのテーマを扱うため、各回で取りあげるテーマの予習が不可欠である。	各回30分（目安）
事後学修	第16回目に期末試験を実施するため、これまでに学習した内容すべての復習が必要となる。	期末試験に向けた総復習：3時間（目安）
試験等		
16回目に筆記試験を行う。		
試験のフィードバックの方法		
小テストについては、実施直後に答えあわせと解説を行う。 期末試験については、模範解答をmanabaで掲示する。 その他の提出物については、授業内でフィードバックを行い全体で共有する。		
必携書（教科書販売）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
必携書・参考書（教科書販売以外）		
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考		
教科書は用いず、資料を配布する。 参考図書については、適宜、授業中に紹介する。		
オフィスアワー		
質問は随時、電子メールで受け付ける。		
連絡先		
katsumikosaka@hotmail.com		
留意事項		
・身の回りで起こっている事象に関心を持ち、常にアンテナを張っておくこと。 ・小テストをやむを得ず欠席する場合、可能な限り、事前に理由とともに担当者に連絡をすること。難しい場合は事後でもかまわないので、理由とともに翌日までに担当者に連絡すること。連絡があった場合に限り、別日に小テストを実施するかどうか理由により判断する。なお、別日に小テストを受けることが認められた場合でも、得点×0.8とする。		